

## 第4章 居宅サービス未利用者調査



## 第4章 居宅サービス未利用者調査

### 1 対象者についての基本的事項

#### (1) 記入者

##### ア 記入者

表 3-1 記入者

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	宛名の本人	家族	その他	無回答
670	368	256	4	42
100.0	54.9	38.2	0.6	6.3

アンケートの回答者は、「宛名の本人」54.9%に対し、「家族」が38.2%となっている。

##### イ 本人が回答できない理由

表 3-2 本人が回答できない理由

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	病院に入院中	介護保険施設に入所 老人ホームなど	病气やけが	物が忘れがあり、 通が時々難しい、 意思疎通	認知症のため 意思疎通が いつも難しい	障害(身体障害、 知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
260	91	25	2	55	34	21	1	6	19	6
100.0	35.0	9.6	0.9	21.0	13.2	8.1	0.3	2.1	7.4	2.4

本人が回答できない理由としては、「病院に入院中」が35.0%で最も多く、次いで「物忘れがあり、意思疎通が時々難しい」(21.0%)、「認知症のため意思疎通がいつも難しい」(13.2%)となっている。

## (2) 年齢別・性別構成

図 3-1 年齢構成

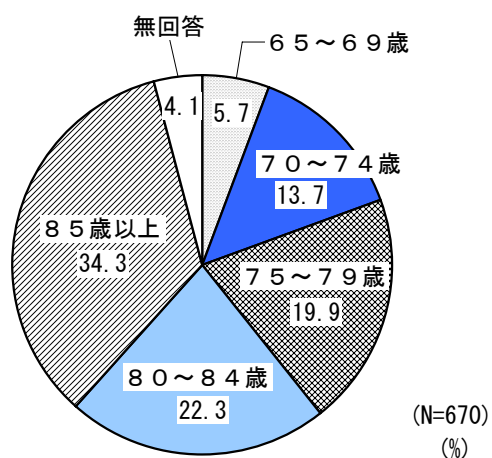
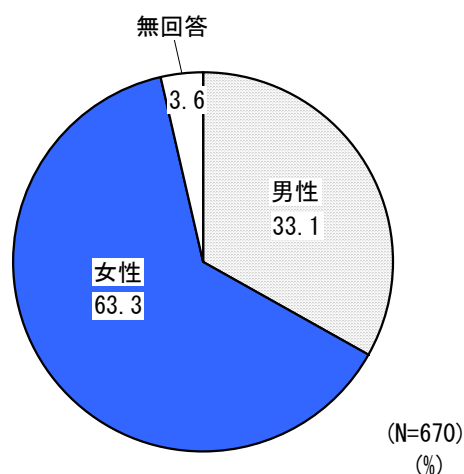


図 3-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「85歳以上」が34.3%と最も多く、次いで「80～84歳」(22.3%)、「75～79歳」(19.9%)と、年齢が上がるほど割合も高くなっている。

性別構成については、男性33.1%、女性63.3%と、女性の方が30ポイント多くなっている。

## (3) 居住地域

### ア 居住地区

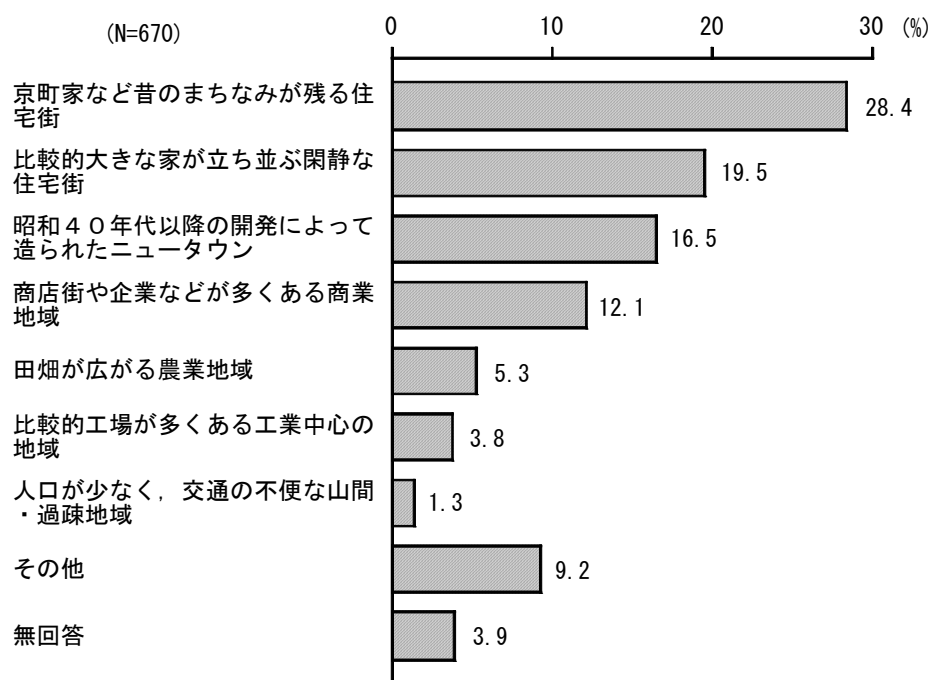
表 3-3 居住地区

調査数 (N)	(上段：件 下段：%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
670	57	52	69	55	32	56	39	30	93	48	7	108	7	9	8
100.0	8.5	7.8	10.3	8.2	4.7	8.4	5.8	4.5	13.9	7.2	1.0	16.1	1.1	1.4	1.1

居住地区は、「左京区」「右京区」「伏見区」の3区が10%を超えている。

## イ 地域の特性

図 3-3 地域の特性

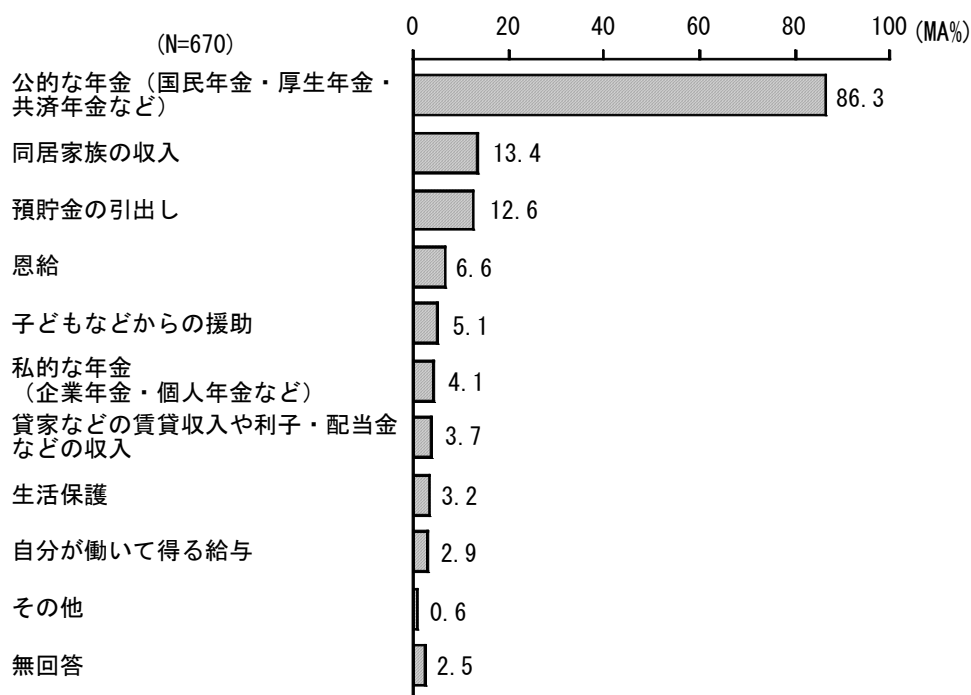


住まいの地域については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が28.4%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(19.5%)、「昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン」(16.5%)となっている。

#### (4) 収入

##### ア 主な収入源

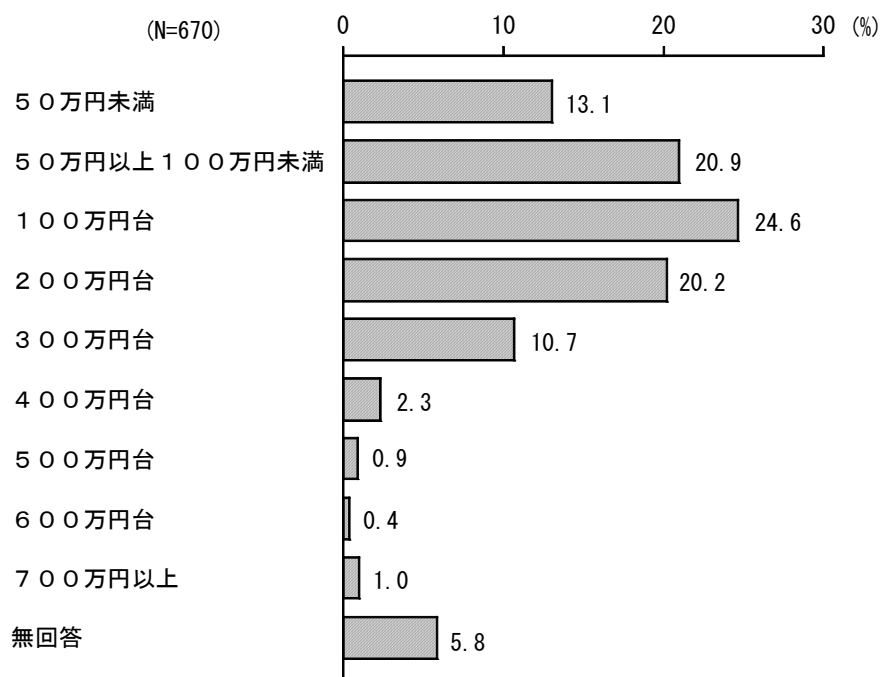
図 3-4 主な収入源



主な収入源については、「公的な年金 (国民年金・厚生年金・共済年金など)」が86.3%で圧倒的に多く、次いで「同居家族の収入」が13.4%、「預貯金の引出し」が12.6%となっている。

##### イ 本人の年収

図 3-5 本人の年収

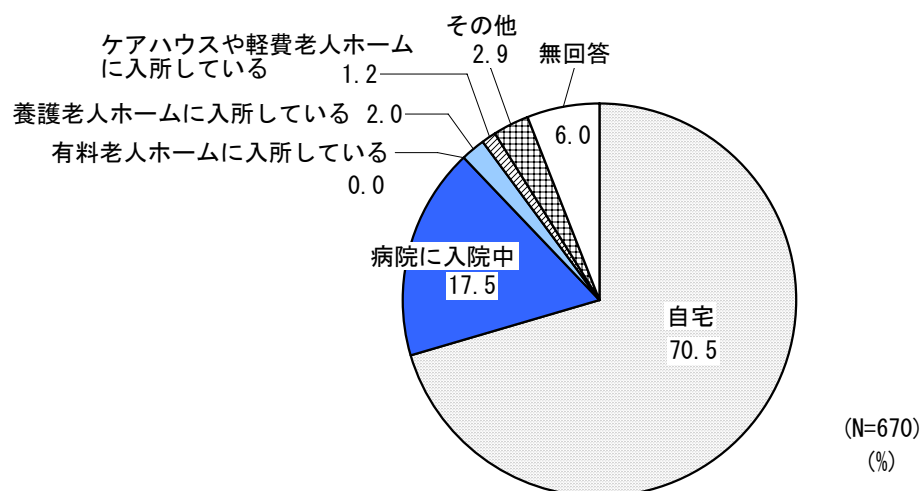


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が24.6%と最も多く、次いで「50万円以上100万円未満」(20.9%)、「200万円台」(20.2%)となっている。

## (5) 住居形態

### ア 現在の居場所

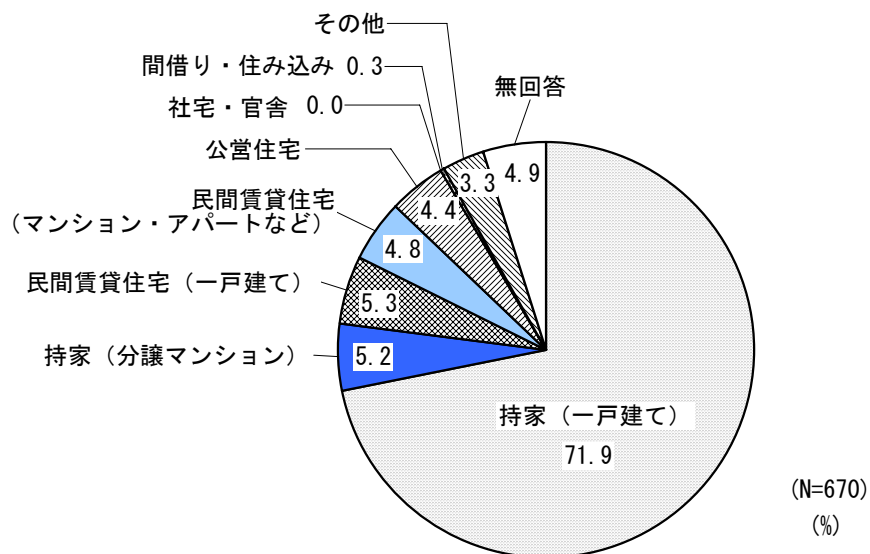
図 3-6 現在の居場所



現在の居場所としては、「自宅」が70.5%を占め、次いで「病院に入院中」(17.5%)となっている。

### イ 住まいの形態

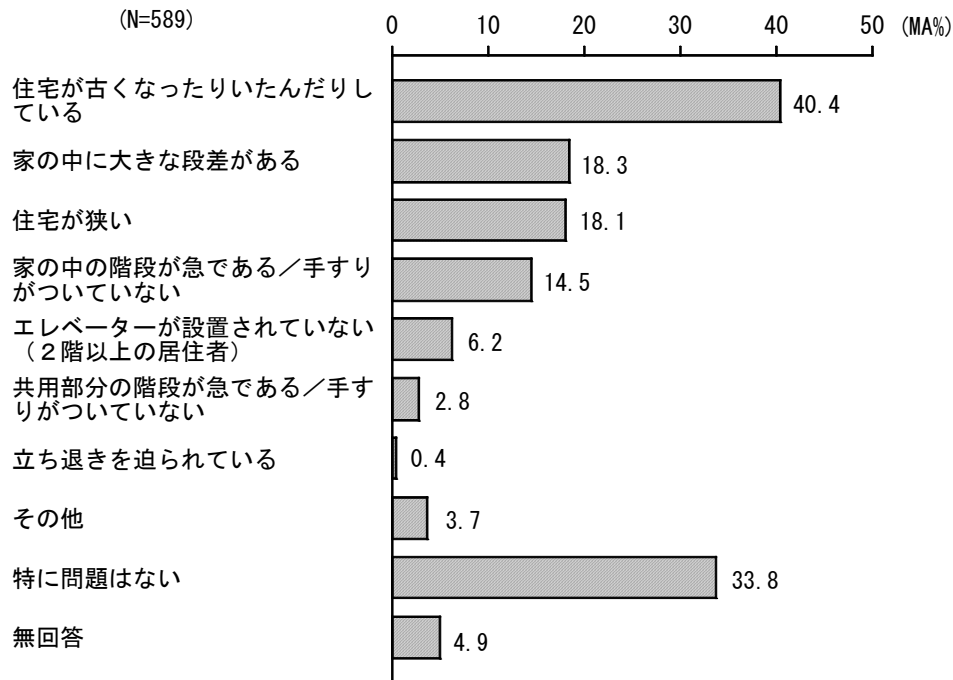
図 3-7 住まいの形態



自宅または入院中の人の住まいの形態は、「持家 (一戸建て)」が71.9%と圧倒的に多く、次いで「民間賃貸住宅 (一戸建て)」が5.3%、「持家 (分譲マンション)」が5.2%となっている。

## ウ 住まいの状況

図 3-8 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が40.4%と最も多く、次いで「家の中に大きな段差がある」(18.3%)、「住宅が狭い」(18.1%)となっている。

表 3-8 住まいの形態別 住まいの状況

	調査数 (N)	住宅が古くなったりいたんだりしている	家の中に大きな段差がある	住宅が狭い	家の中の階段が急である／手すりがついていない	エレベーターが設置されていない (2階以上の居住者)	共用部分の階段が急である／手すりがついていない	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家 (一戸建て)	423	42.4	18.3	16.0	16.2	5.8	1.2	0.4	3.1	34.8	3.7
持家 (分譲マンション)	30	29.1	4.5	18.9	2.3	4.7	13.2	-	4.4	42.3	6.8
民間賃貸住宅 (一戸建て)	31	67.8	37.7	23.2	24.2	-	2.9	-	6.9	21.5	-
民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)	28	25.9	19.8	18.5	9.3	11.7	6.9	-	-	43.9	-
公営住宅	26	30.0	8.4	38.9	11.0	17.9	12.5	-	5.0	26.4	6.5
社宅・官舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
間借り・住み込み	2	65.4	-	65.4	-	65.4	-	-	-	-	34.6
その他	19	39.3	29.8	37.4	8.0	3.4	-	-	19.0	13.2	3.4
無回答	29	15.1	13.1	6.9	4.4	2.5	4.4	2.5	-	36.1	28.2
合計	589	40.4	18.3	18.1	14.5	6.2	2.8	0.4	3.7	33.8	4.9

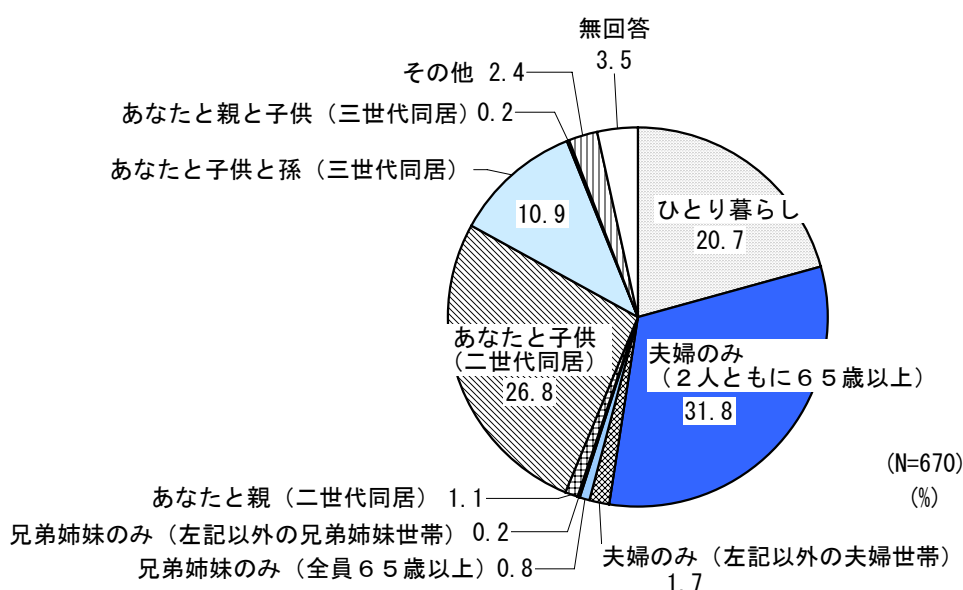
住まいの状況について住まいの形態別にみると、「住宅が古くなったりいたんだりしている」は民間賃貸住宅 (一戸建て) (67.8%)、持家 (一戸建て) (42.4%) などが多くなっている。また、「家の中に大きな段差がある」も民間賃貸住宅 (一戸建て) (37.7%) で高い割合となっている。



(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

図 3-9 世帯構成



世帯構成は、「夫婦のみ (2人とも65歳以上)」が31.8%で最も多く、次いで「あなたと子供 (二世帯同居)」(26.8%)、「ひとり暮らし」(20.7%)となっている。

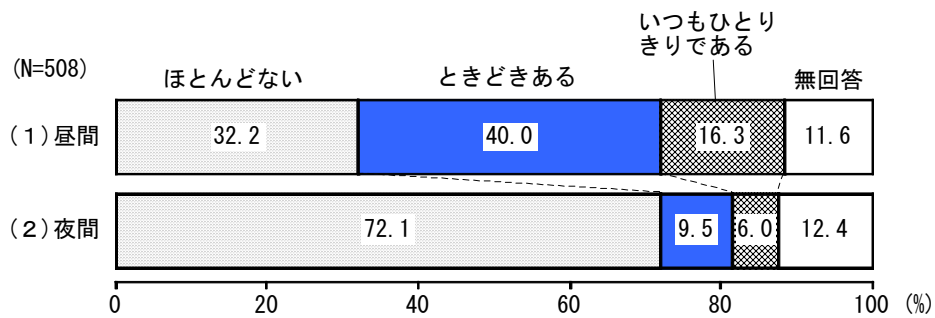
表 3-9 要介護度別 世帯構成

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	夫婦のみ (左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ (左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親 (二世帯同居)	あなたと子供 (二世帯同居)	あなたと子供と孫 (三世帯同居)	あなたと親と子供 (三世帯同居)	その他	無回答
要支援1	112	34.6	30.1	1.3	1.3	-	-	17.3	7.7	-	1.9	5.8
要支援2	176	18.7	41.0	1.4	1.4	-	0.7	20.9	8.6	0.7	3.6	2.9
要介護1	115	13.2	23.5	2.9	-	-	2.9	44.1	10.3	-	-	2.9
要介護2	99	27.0	39.2	-	1.4	1.4	1.4	18.9	9.5	-	1.4	-
要介護3	73	13.4	31.7	3.7	-	-	-	26.8	12.2	-	4.9	7.3
要介護4	45	16.9	16.9	1.3	-	-	1.3	36.4	20.8	-	2.6	3.9
要介護5	50	14.9	21.6	1.4	-	-	1.4	36.5	18.9	-	2.7	2.7
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	670	20.7	31.8	1.7	0.8	0.2	1.1	26.8	10.9	0.2	2.4	3.5

世帯構成を要介護度別にみると、「ひとり暮らし」は要支援1 (34.6%) で最も多く、「夫婦のみ (2人ともに65歳以上)」は要支援2 (41.0%) が最も多くなっている。また、要介護4・5の重度では「あなたと子供 (二世帯同居)」が30%台で最も多くなっている。

イ 昼間独居等の状況

図 3-10 昼間独居等の状況



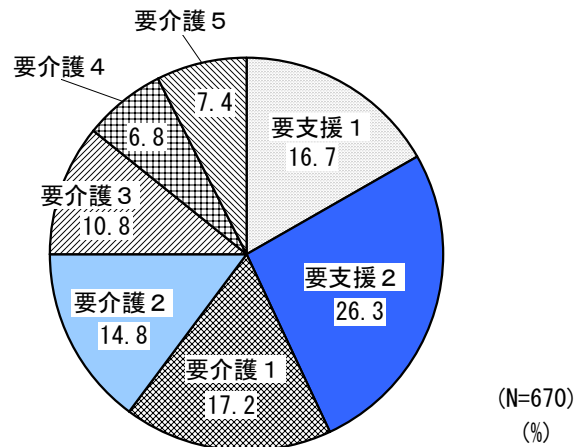
家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は56.3%を占め、「いつもひとりきりである」は16.3%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は15.5%であり、「いつもひとりきりである」は6.0%となっている。

(7) 要介護度とその変化

ア 要介護度

図 3-11 要介護度



調査対象者の要介護度は、「要支援2」が26.3%と最も多く、次いで「要介護1」(17.2%)、「要支援1」(16.7%)となっている。

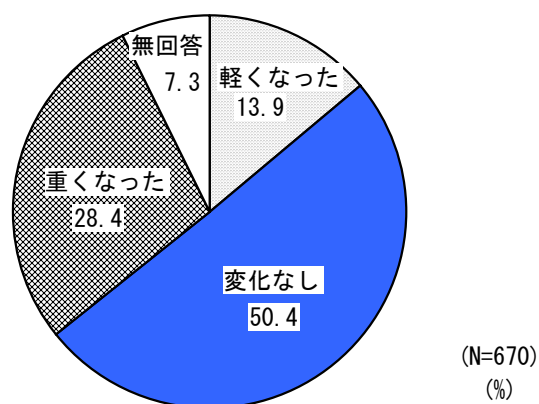
表 3-11 性・年齢別 要介護度

	調査数 (N)	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5
男性 (全体)	222	15.8	27.4	15.3	17.0	11.6	5.3	7.6
男性 65～69歳	21	10.3	36.6	16.3	12.9	8.5	5.7	9.7
70～74歳	45	14.2	27.9	14.9	20.7	13.7	2.6	5.9
75～79歳	56	12.9	20.5	12.2	16.9	15.9	9.6	12.1
80～84歳	49	18.8	35.8	17.1	16.3	5.4	1.2	5.4
85歳以上	49	20.4	23.3	17.3	13.7	12.7	7.2	5.5
女性 (全体)	424	17.2	25.4	17.2	14.6	10.2	7.8	7.6
女性 65～69歳	18	8.2	36.1	19.3	15.3	10.1	3.4	7.6
70～74歳	47	16.9	29.9	18.2	23.0	9.5	2.5	-
75～79歳	77	12.9	32.7	19.7	12.1	11.4	7.6	3.5
80～84歳	100	28.6	24.0	15.2	12.1	10.6	3.5	6.0
85歳以上	181	13.9	21.0	16.9	14.1	9.8	12.1	12.2
無回答	27	13.2	28.0	31.2	9.9	13.1	2.2	2.5
合計	670	16.7	26.3	17.2	14.8	10.8	6.8	7.4

要介護度を性・年齢別にみると、男性の75～79歳と女性の85歳以上で「要介護5」が10%台と高い。男性・女性の全体ではあまり大きな差はみられない。

## イ 要介護度の変化

図 3-12 要介護度の変化



要介護度は「変化なし」が50.4%で最も多く、以前に比べて「軽くなった」は13.9%、それに対して「重くなった」は28.4%と多くなっている。

図 3-13 要介護度別 要介護度の変化

	調査数 (N)	軽くなった (%)	変化なし (%)	重くなった (%)	無回答 (%)
要支援 1	112	19.2	54.5	12.8	13.5
要支援 2	176	18.0	58.3	14.4	9.4
要介護 1	115	13.2	61.8	19.1	5.9
要介護 2	99	12.2	44.6	37.8	5.4
要介護 3	73	9.8	37.8	47.6	4.9
要介護 4	45	9.1	23.4	63.6	3.9
要介護 5	50	2.7	41.9	55.4	-
合計	670	13.9	50.4	28.4	7.3

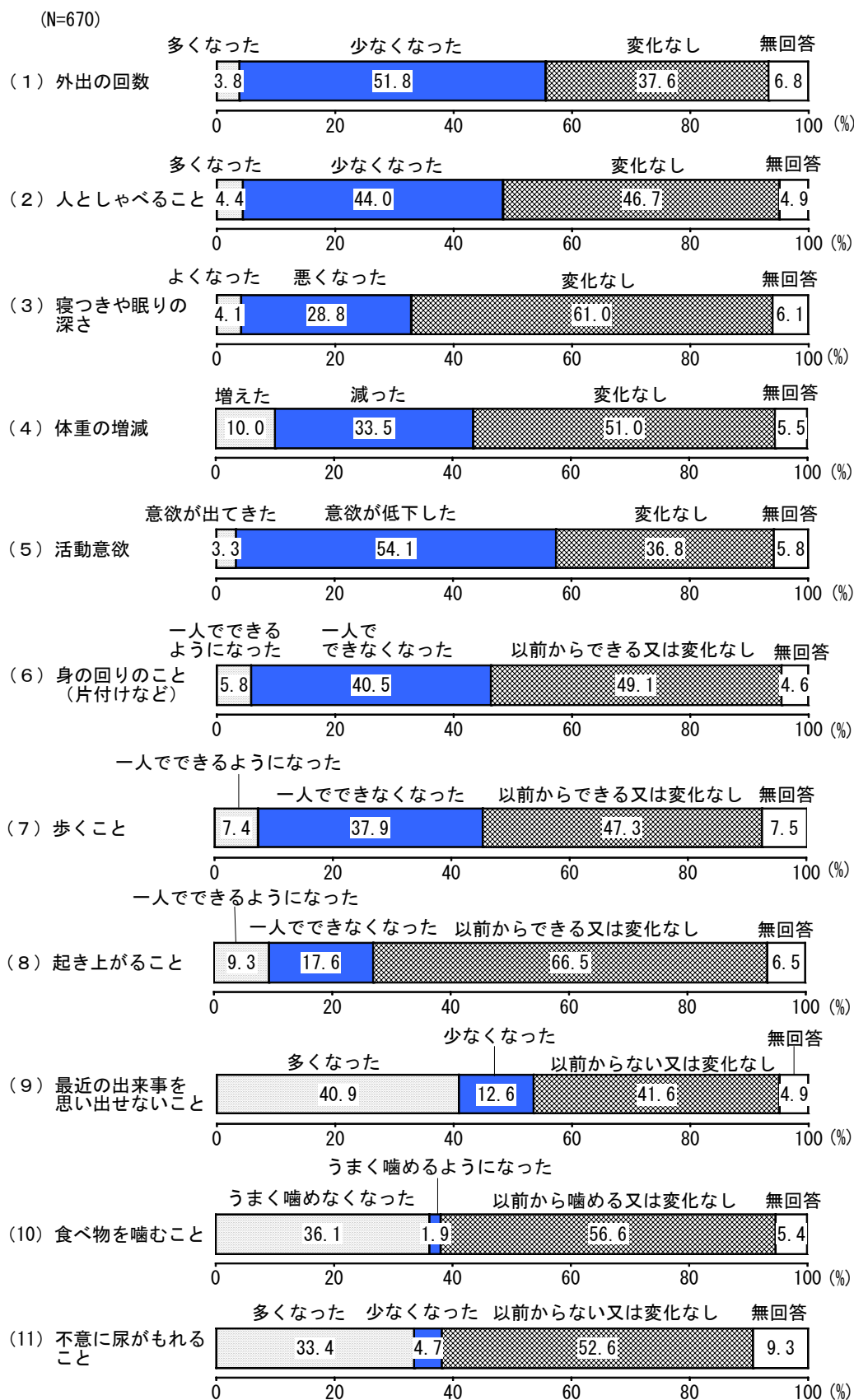
要介護度の変化を要介護度別にみると、要介護度が重度になるほど「重くなった」の割合が高くなる傾向にある。「重くなった」の割合は要介護 4 (63.6%) が最も高く、次いで要介護 5 (55.4%) となっている。

## 2 身体・生活の状況について

### (1) 最近半年間の心身の変化

#### ア 最近半年間の心身の変化

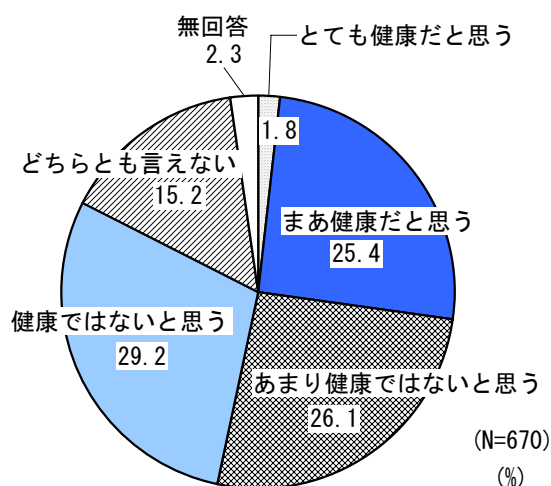
図 3-14 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、『(3) 寝つきや眠りの深さ』『(8) 起き上がること』では「変化なし」が60%以上を占めているが、『(1) 外出の回数』『(5) 活動意欲』では、低下や悪化を表す回答が50%台と多くなっている。

### イ 日ごろの健康状態

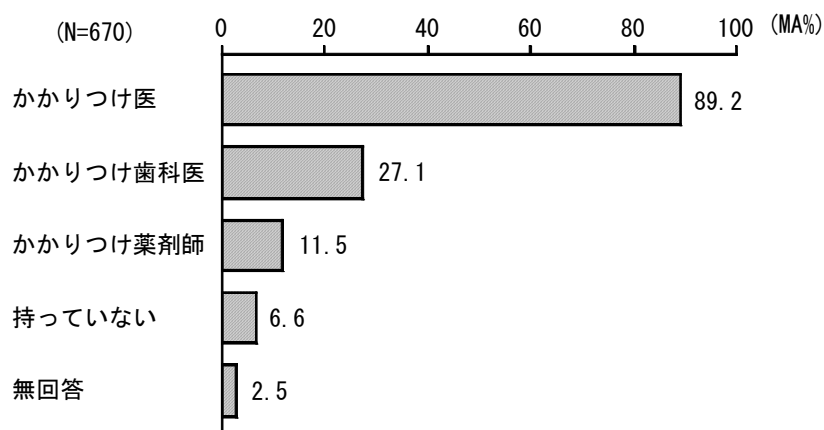
図 3-15 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う (計)』(「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合) の27.2%に対し、『健康ではないと思う (計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合) が55.3%と多くなっている。

### ウ かかりつけ医の有無

図 3-16 かかりつけ医の有無



かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」が89.2%を占め、次いで「かかりつけ歯科医」が27.1%、「かかりつけ薬剤師」が11.5%となっており、一方で「持っていない」は6.6%となっている。

表 3-17 要介護度別 かかりつけ医の有無

		(MA%)				
	調査数 (N)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師	持っていない	無回答
要支援1	112	94.9	35.3	17.3	3.8	0.6
要支援2	176	96.4	36.7	11.5	1.4	-
要介護1	115	91.2	27.9	13.2	7.4	-
要介護2	99	79.7	21.6	6.8	12.2	5.4
要介護3	73	91.5	15.9	12.2	4.9	2.4
要介護4	45	80.5	9.1	7.8	15.6	3.9
要介護5	50	70.3	16.2	6.8	12.2	14.9
合計	670	89.2	27.1	11.5	6.6	2.5

かかりつけ医の有無を要介護度別にみると、「かかりつけ医」は要支援1・2，要介護1・3が9割台を占めているのに対し，要介護5は70.3%で最も低い。「かかりつけ歯科医」は要支援1（35.3%）と要支援2（36.7%）が3割を超える。

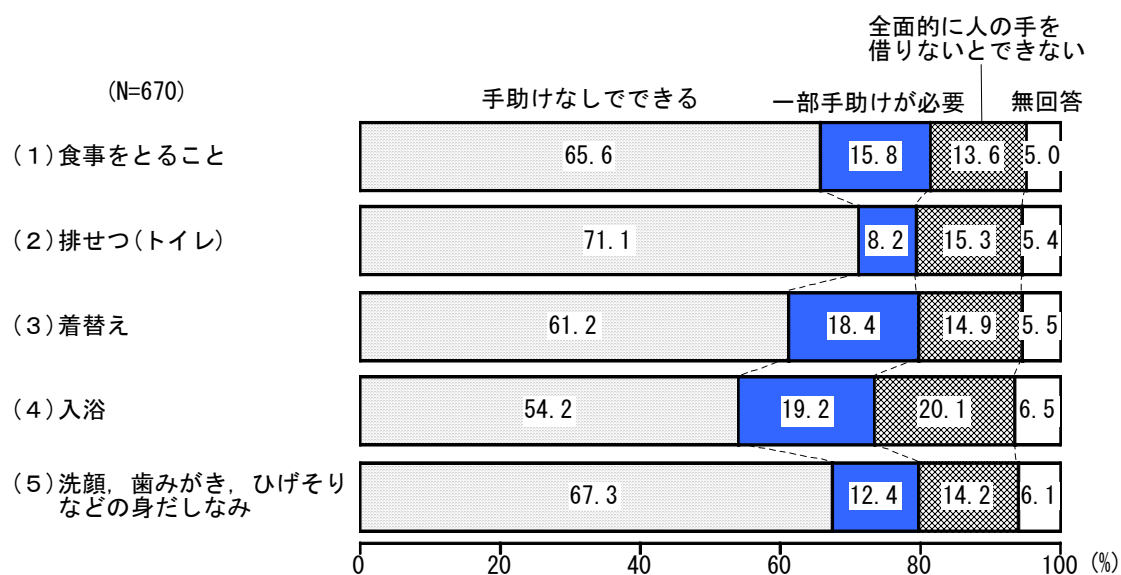
表 3-18 日ごろの健康状態別 かかりつけ医の有無

		(MA%)				
	調査数 (N)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師	持っていない	無回答
とても健康だと思う	12	88.6	22.1	10.7	-	-
まあ健康だと思う	170	93.3	31.2	10.8	6.0	-
あまり健康ではないと思う	175	91.6	28.0	15.8	4.7	1.3
健康ではないと思う	196	87.9	25.0	11.5	7.9	3.5
どちらとも言えない	102	89.7	26.4	7.3	8.3	-
無回答	15	32.2	4.4	-	11.1	52.3
合計	670	89.2	27.1	11.5	6.6	2.5

かかりつけ医の有無を日ごろの健康状態別にみると，いずれも「かかりつけ医」が8～9割を占め最も多くなっている。

## (2) 日常生活動作（基本的ADL）

図 3-19 日常生活動作（基本的ADL）

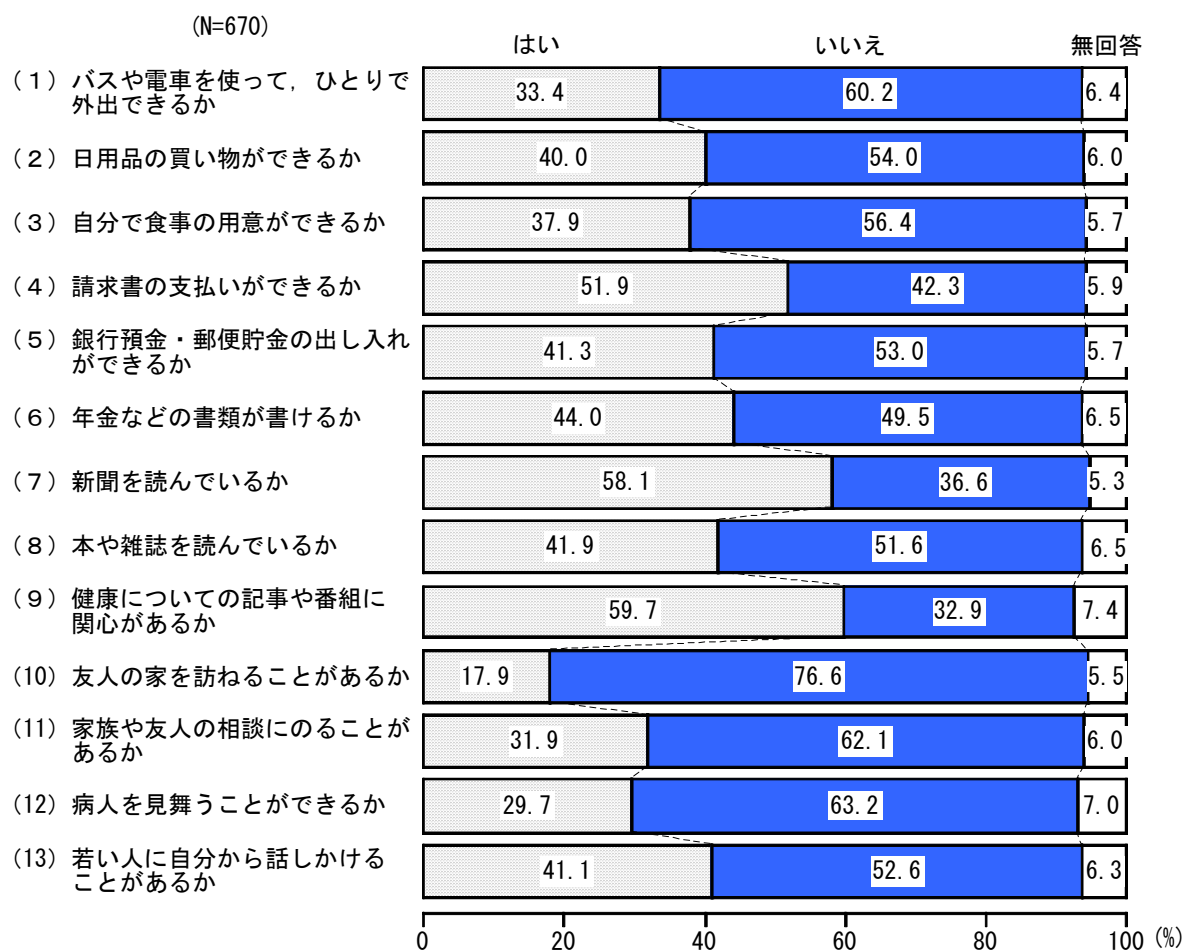


基本的な日常基本動作のうち、『(4) 入浴』については「全面的に人の手を借りないとできない」が20.1%と多く、「一部手助けが必要」(19.2%)を合わせると、39.3%が介助を必要としている。



### (3) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 3-20 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中、『(4) 請求書の支払いができるか』『(7) 新聞を読んでいるか』『(9) 健康についての記事や番組への関心があるか』について「はい」が50%以上を占めるが、『(10) 友人の家を訪ねることがあるか』(76.6%)をはじめとして、『(12) 病人を見舞うことができるか』(63.2%)、『(11) 家族や友人の相談にのることがあるか』(62.1%)、『(1) バスや電車を使ってひとりで外出ができるか』(60.2%)などについては、「いいえ」の割合が高くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は5.5点となっている。この点数は老研式活動能力指標の13項目について「はい」(できる)との回答に対し1点与え、その累積値(最高13点満点)により生活機能の自立の程度をみるもので、点数が高いほど自立度も高いことを意味する。

※老研式活動能力指標（高次ADL）とは、高齢者が、どのくらい生活機能の自立度（地域で、ひとりで日常生活を営むことができる能力）を維持しているかを測る指標として、東京都老人総合研究所が開発したものです。

表 3-20 要介護度別 老研式活動能力指標（高次ADL）

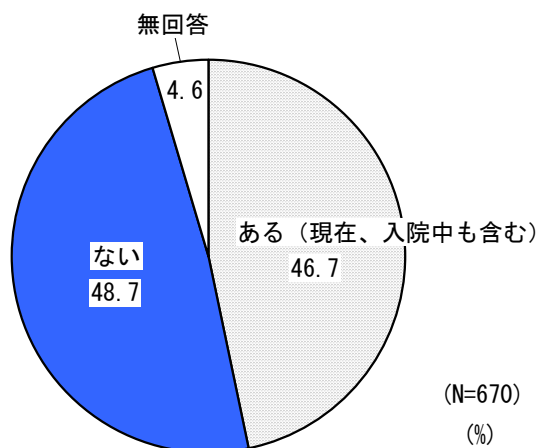
	調査数 (N)	(% )					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平 均 点
要支援1	112	11.5	16.7	31.4	39.7	0.6	8.2
要支援2	176	16.5	18.7	26.6	34.5	3.6	7.6
要介護1	115	35.3	27.9	17.6	19.1	-	5.4
要介護2	99	43.2	16.2	23.0	12.2	5.4	4.8
要介護3	73	64.6	18.3	7.3	3.7	6.1	2.5
要介護4	45	83.1	5.2	2.6	5.2	3.9	1.5
要介護5	50	77.0	-	-	4.1	18.9	0.9
合計	670	37.1	17.2	19.6	21.8	4.2	5.5

要介護度別に分布をみると、「10点以上」の割合は、要支援1・2の軽度で高く、特に要支援1で39.7%と高くなっている。総合点の平均は、いずれも10点を下回っており、要支援1が8.2%で最も高い。

#### (4) 入院経験と現在治療を受けている病気

##### ア この1年間に入院した経験

図 3-21 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め46.7%となっている。

##### イ 現在治療を受けている病気

表 3-4 現在治療を受けている病気

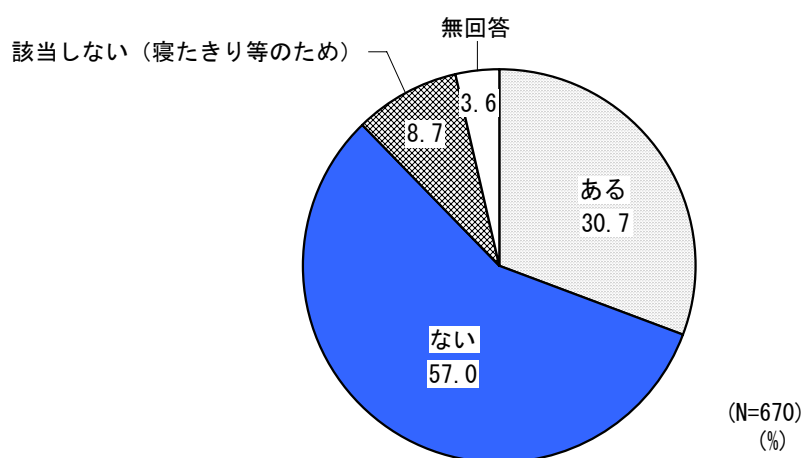
(上段：件 下段：MA%)

調査数 (N)	高血圧症	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	心臓病(心筋梗塞、狭心症など)	歯の病気	糖尿病	脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)	消化器系疾患	泌尿器系疾患	耳、鼻の病気	呼吸器系疾患(喘息、肺炎など)	精神疾患	腎臓病	高脂血症	肝臓病	結核	その他	特にない	無回答
670	262	249	179	174	114	97	94	90	73	69	51	47	44	42	34	3	108	27	28
100.0	39.1	37.1	26.8	25.9	16.9	14.5	14.1	13.4	10.9	10.2	7.6	7.1	6.6	6.2	5.0	0.4	16.1	4.0	4.2

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」が39.1%と最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの病気」が37.1%、「眼の病気」(26.8%)、「心臓病(心筋梗塞、狭心症など)」(25.9%)などとなっている。

## (5) 転倒経験

図 3-22 この1年間に転倒してケガをした経験

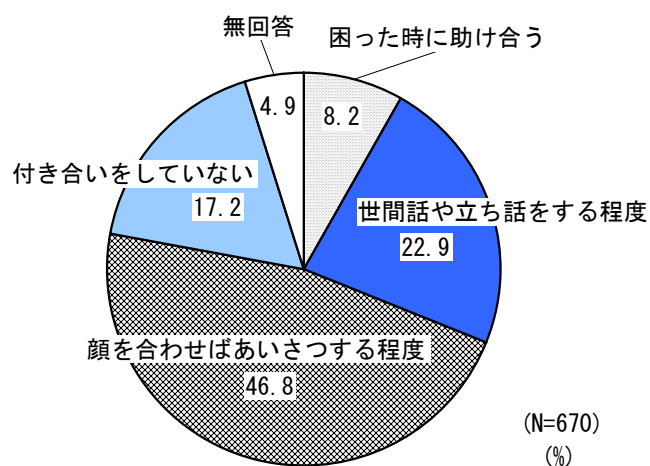


この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、30.7%となっている。

## (6) 近所付き合い

### ア 近所付き合いの程度

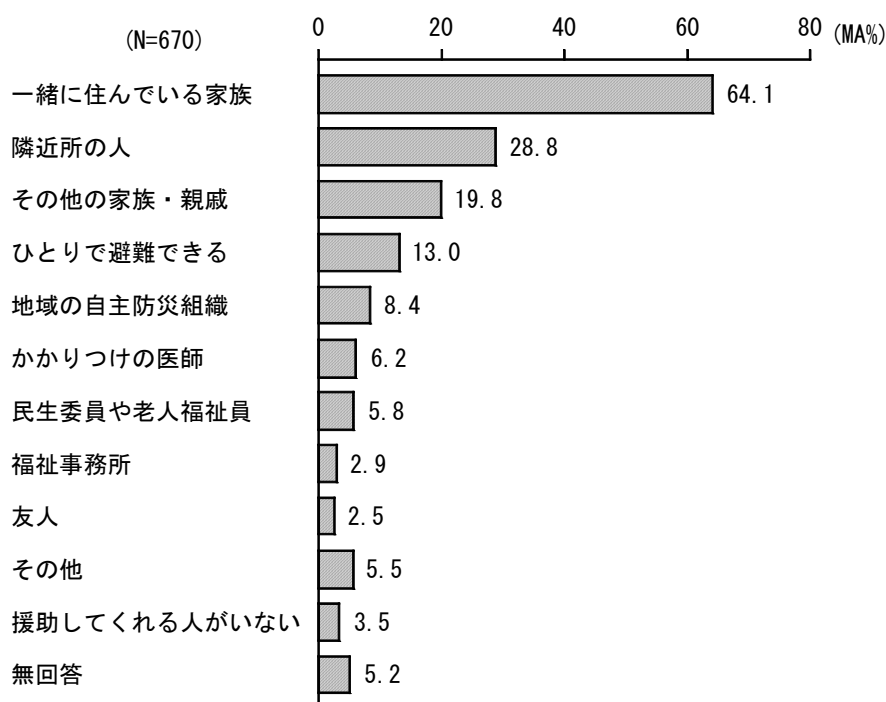
図 3-23 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度は、「顔を合わせばあいさつする程度」が46.8%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(22.9%)であり、「困った時に助け合う」は8.2%となっている。

## イ 災害時に避難が必要になった場合の援助者

図 3-26 災害時に避難が必要になった場合の援助者



災害時に避難が必要になった場合の援助者については、「一緒に住んでいる家族」が64.1%で最も多く、次いで「隣近所の人」が28.8%、「その他の家族・親戚」が19.8%、「ひとりで避難できる」が13.0%となっている。

表 3-26 性・世帯構成別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数 (N)	一緒に住んでいる家族	隣近所の人	その他の家族・親戚	ひとりで避難できる	地域の自主防災組織	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	友人	その他	援助してくれる人がいない	無回答
男性 (全体)	222	66.8	31.8	14.5	15.7	9.2	8.7	3.1	2.3	3.9	5.0	4.3	5.1
男性 ひとり暮らし	22	-	41.2	16.3	23.5	6.6	9.5	-	-	-	17.1	3.3	17.6
夫婦のみ	120	66.7	36.0	16.1	17.2	12.1	6.4	4.3	2.3	3.6	2.4	6.8	3.6
兄弟姉妹のみ	3	61.0	39.0	-	-	39.0	-	-	-	-	39.0	-	-
二世帯同居	51	88.0	24.1	10.6	6.5	5.9	7.9	3.3	3.3	5.1	2.6	1.4	5.2
三世帯同居	14	76.2	16.7	15.1	19.5	-	16.0	-	4.7	-	13.6	-	4.2
その他	5	100.0	26.4	-	-	-	14.9	-	-	-	-	-	-
女性 (全体)	424	63.4	27.9	22.0	10.9	8.4	4.9	6.8	2.9	1.9	6.0	3.0	5.1
女性 ひとり暮らし	111	4.3	39.3	27.6	22.5	11.4	5.5	10.5	4.5	-	8.9	10.2	6.9
夫婦のみ	96	81.5	30.7	26.7	6.8	9.2	3.0	8.0	2.7	3.6	4.4	1.4	4.3
兄弟姉妹のみ	3	79.0	-	-	21.0	-	-	-	-	-	-	-	-
二世帯同居	127	93.1	23.0	21.1	6.2	8.0	4.3	4.1	2.1	2.1	3.2	-	2.5
三世帯同居	59	87.7	14.8	7.7	3.9	2.7	4.9	2.7	1.5	1.5	9.3	-	4.6
その他	11	73.5	37.3	35.8	-	11.4	6.5	11.4	-	11.4	6.0	-	6.0
無回答	24	50.6	18.7	28.9	23.8	-	6.9	12.1	6.9	-	-	5.2	7.6
合計	670	64.1	28.8	19.8	13.0	8.4	6.2	5.8	2.9	2.5	5.5	3.5	5.2

災害時に避難が必要になった場合の援助者について性別にみると、「その他の家族・親類」は男性 (14.5%) より女性 (22.0%) のほうが7.5ポイント高く、「ひとりで避難できる」は

女性（10.9%）より男性（15.7%）のほうが4.8ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「ひとりで避難できる」は男性のひとり暮らしと女性のひとり暮らし、兄弟姉妹のみで20%台となっている。「一緒に住んでいる家族」は男性の二世帯・三世帯同居、女性のひとり暮らし以外で70%以上となっている。

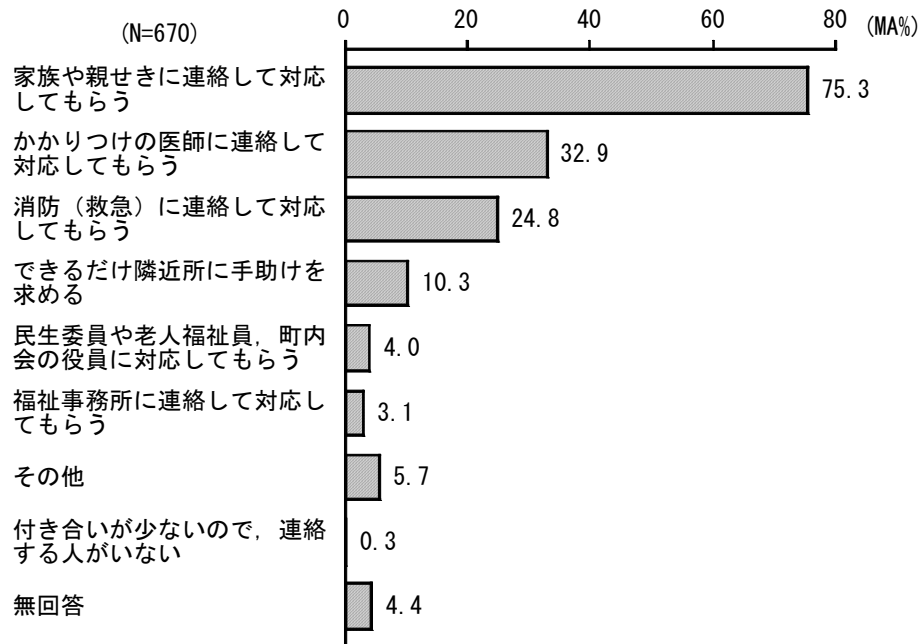
表 3-26 要介護度別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数（N）	一緒に住んでいる家族	隣近所の人	その他の家族・親戚	ひとりで避難できる	地域の自主防災組織	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	友人	その他	援助してくれる人がいない	無回答
要支援1	112	50.0	29.5	25.0	22.4	12.8	10.3	10.3	4.5	1.9	3.8	5.1	5.8
要支援2	176	69.1	37.4	19.4	18.7	8.6	4.3	5.8	2.9	2.9	2.9	4.3	1.4
要介護1	115	76.5	30.9	23.5	14.7	4.4	5.9	8.8	4.4	4.4	2.9	-	-
要介護2	99	60.8	28.4	13.5	6.8	12.2	1.4	1.4	-	-	5.4	6.8	4.1
要介護3	73	70.7	20.7	19.5	4.9	6.1	9.8	2.4	1.2	3.7	7.3	1.2	7.3
要介護4	45	57.1	18.2	19.5	3.9	6.5	10.4	5.2	3.9	1.3	14.3	1.3	11.7
要介護5	50	52.7	14.9	13.5	-	4.1	5.4	2.7	2.7	2.7	13.5	4.1	23.0
合計	670	64.1	28.8	19.8	13.0	8.4	6.2	5.8	2.9	2.5	5.5	3.5	5.2

災害時に避難が必要になった場合の援助者について要介護度別にみると、いずれの要介護度も「一緒に住んでいる家族」が過半数を占め最も多く、特に要介護1（76.5%）が高い割合となっている。また、「ひとりで避難できる」は重度になるほど割合が低くなっている。

ウ 急病時の対処方法

図 3-31 急病時の対処方法



急病時の対処方法については、「家族や親せきに連絡して対応してもらう」が75.3%で最も多く、次いで「かかりつけの医師に連絡して対応してもらう」が32.9%、「消防（救急）に連絡して対応してもらう」が24.8%となっている。

表 3-31 性・世帯構成別 急病時の対処方法

	調査数 (N)	家族や親せきに連絡して対応してもらう	かかりつけの医師に連絡して対応してもらう	消防（救急）に連絡して対応してもらう	できるだけ隣近所に手助けを求める	民生委員や老人福祉員に連絡して対応してもらう	福祉事務所に連絡して対応してもらう	その他	付き合いが少ない人がいない	無回答
男性（全体）	222	72.0	31.9	31.4	8.5	3.9	2.6	5.2	0.3	4.1
男性 ひとり暮らし	22	48.2	5.8	15.7	10.3	-	-	27.6	3.3	13.5
夫婦のみ	120	69.7	39.6	39.7	10.5	5.1	1.8	3.5	-	1.6
兄弟姉妹のみ	3	78.0	22.0	-	39.0	-	-	-	-	-
二世帯同居	51	82.0	21.5	23.4	2.7	3.3	5.9	1.4	-	5.2
三世帯同居	14	79.7	50.4	21.7	-	-	4.7	-	-	4.2
その他	5	100.0	27.2	-	26.4	-	-	-	-	-
女性（全体）	424	77.6	33.5	20.5	11.0	3.9	3.3	5.8	0.3	4.9
女性 ひとり暮らし	111	66.7	28.9	14.8	16.2	9.6	5.7	10.1	1.1	7.9
夫婦のみ	96	77.5	28.6	31.6	8.5	2.1	3.5	4.0	-	2.9
兄弟姉妹のみ	3	60.5	60.5	-	-	-	-	-	-	-
二世帯同居	127	85.5	42.1	26.8	9.3	2.4	1.7	3.5	-	2.4
三世帯同居	59	85.3	30.1	4.9	10.9	1.5	1.5	4.3	-	4.6
その他	11	88.6	40.7	17.9	11.4	-	-	5.3	-	6.0
無回答	24	64.9	30.2	40.8	13.5	5.2	2.9	6.9	-	-
合計	670	75.3	32.9	24.8	10.3	4.0	3.1	5.7	0.3	4.4

急病時の対処方法について性別で見ると、「消防（救急）に連絡して対応してもらう」は女

性 (20.5%) より男性 (31.4%) のほうが10.9ポイント高く、「家族や親せきに連絡して対応してもらおう」は男性 (72.0%) より女性 (77.6%) のほうが5.6ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「家族や親せきに連絡して対応してもらおう」は男性のひとり暮らし (48.2%) で最も低く、「かかりつけの医師に連絡して対応してもらおう」は男性の三世帯同居と女性の兄弟姉妹のみで高くなっている。

表 3-31 要介護度別 急病時の対処方法

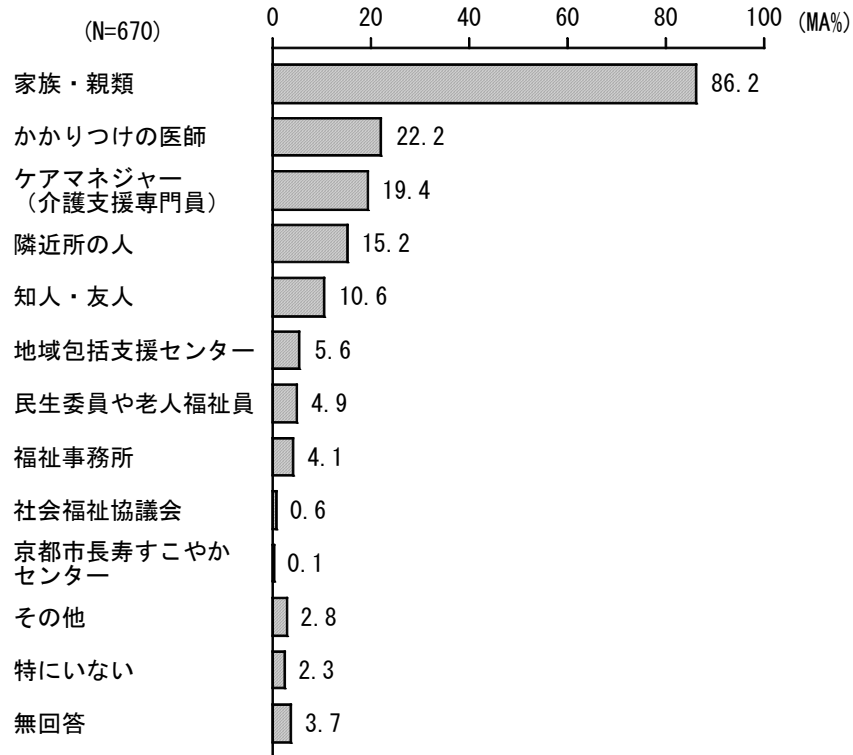
(MA%)										
	調査数 (N)	て家 対族 応や 親 せ き に 連 絡 し	絡か しか り つ け の 医 師 ら に 連 絡 し	て消 防 に 救 急 に 連 絡 し	助で ける を 求 め る 隣 近 所 に 手	応員、 民 生 委 員 や 町 内 会 の 老 人 福 祉 に 対	対福 社 事 務 所 に 連 絡 し て	そ の 他	いで、 付 き 合 い が す 少 人 が い な い	無 回 答
要支援 1	112	79.5	38.5	23.1	9.6	5.1	4.5	4.5	0.6	2.6
要支援 2	176	77.7	40.3	24.5	16.5	4.3	2.9	5.0	0.7	1.4
要介護 1	115	80.9	33.8	39.7	8.8	4.4	5.9	4.4	-	-
要介護 2	99	74.3	28.4	23.0	8.1	2.7	-	4.1	-	5.4
要介護 3	73	69.5	24.4	20.7	7.3	4.9	2.4	8.5	-	4.9
要介護 4	45	70.1	20.8	14.3	7.8	1.3	1.3	9.1	-	10.4
要介護 5	50	59.5	24.3	14.9	4.1	2.7	2.7	9.5	-	21.6
合計	670	75.3	32.9	24.8	10.3	4.0	3.1	5.7	0.3	4.4

急病時の対処方法について要介護度別にみると、いずれの要介護度も「家族や親せきに連絡して対応してもらおう」が最も多く、特に要介護 1 (80.9%) と要支援 1 (79.5%)、要支援 2 (77.7%) で高くなっている。



## エ 相談相手

図 3-36 相談相手



相談相手については、「家族・親類」が86.2%で圧倒的に多くなっている。それ以外では、「かかりつけの医師」が22.2%、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が19.4%、「隣近所の人」が15.2%となっている。

表 3-36 性・年齢別 相談相手

	調査数 (N)	家族・親類	かかりつけの医師	ケアマネジャー (介護支援専門員)	隣近所の人	知人・友人	地域包括支援センター	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特にいない	無回答
男性 (全体)	222	82.3	25.8	19.3	14.7	11.3	6.7	5.3	5.5	0.8	0.3	5.2	2.1	4.1
男性 65～69歳	21	81.1	23.5	14.4	6.4	14.2	3.4	-	12.2	-	-	3.4	-	6.1
男性 70～74歳	45	89.7	27.5	27.9	15.6	22.1	10.6	15.2	8.1	3.7	-	2.0	4.4	-
男性 75～79歳	56	70.1	23.9	17.7	17.3	9.3	9.3	7.4	-	-	1.2	9.3	2.4	6.4
男性 80～84歳	49	88.9	26.7	14.4	14.8	5.9	8.4	-	10.5	-	-	-	1.4	3.1
男性 85歳以上	49	85.5	27.1	20.8	14.6	7.8	-	1.5	1.5	-	-	9.6	1.5	3.0
女性 (全体)	424	88.1	20.5	19.4	15.8	10.3	5.3	4.6	3.7	0.5	-	1.7	2.0	3.7
女性 65～69歳	18	77.5	23.4	17.3	20.7	10.6	4.1	-	3.8	-	-	-	7.2	7.7
女性 70～74歳	47	91.3	18.9	32.8	13.1	5.4	11.1	-	4.6	-	-	2.7	3.1	-
女性 75～79歳	77	94.1	17.5	14.9	12.2	11.0	4.2	6.5	4.3	-	-	1.6	-	0.9
女性 80～84歳	100	88.3	16.7	22.8	21.1	16.9	8.6	8.7	3.4	-	-	2.0	0.7	2.9
女性 85歳以上	181	85.5	24.1	16.3	14.8	6.9	2.6	3.1	3.4	1.3	-	1.4	2.9	5.9
無回答	27	83.9	17.3	17.4	7.9	14.3	-	7.3	-	-	-	-	7.9	4.9
合計	670	86.2	22.2	19.4	15.2	10.6	5.6	4.9	4.1	0.6	0.1	2.8	2.3	3.7

相談相手について性別にみると、「家族・親類」は男性より女性のほうが5.8ポイント高く、「かかりつけの医師」は女性より男性のほうが5.3ポイント高くなっている。性・年齢別にみ

ると、「家族・親類」は女性の70歳代で90%台となっている。男性の70～74歳は「知人・友人」と「民生委員や老人福祉員」が他の年齢層に比べて高くなっている。

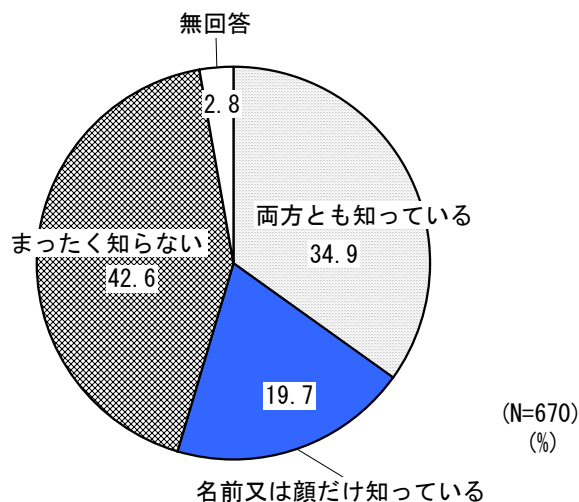
表 3-36 要介護度別 相談相手

	調査数 (N)	家族・親類	かかりつけの医師	ケアマネジャー (介護支援専門員)	隣近所の人	知人・友人	地域包括支援センター	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特になし	無回答
要支援 1	112	85.3	24.4	13.5	19.9	11.5	9.6	7.7	4.5	1.3	-	2.6	2.6	1.9
要支援 2	176	86.3	23.7	20.9	20.1	15.8	8.6	7.2	7.9	-	-	3.6	2.9	1.4
要介護 1	115	97.1	25.0	26.5	11.8	7.4	4.4	2.9	1.5	1.5	-	1.5	-	-
要介護 2	99	85.1	14.9	17.6	14.9	9.5	1.4	4.1	1.4	-	-	2.7	1.4	4.1
要介護 3	73	84.1	22.0	17.1	12.2	8.5	2.4	2.4	2.4	1.2	-	2.4	2.4	6.1
要介護 4	45	83.1	22.1	19.5	6.5	6.5	3.9	1.3	-	-	-	1.3	5.2	6.5
要介護 5	50	70.3	20.3	17.6	8.1	6.8	2.7	4.1	8.1	-	1.4	5.4	4.1	17.6
合計	670	86.2	22.2	19.4	15.2	10.6	5.6	4.9	4.1	0.6	0.1	2.8	2.3	3.7

相談相手について要介護度別にみると、いずれも「家族・親類」が最も多く、特に要介護1が97.1%と高くなっている。また、「隣近所の人」や「知人・友人」、「福祉事務所」では要支援2で最も多くなっている。一方、「特になし」は要介護4 (5.2%) で最も高くなっている。

### オ 地域の町内会長の認知状況

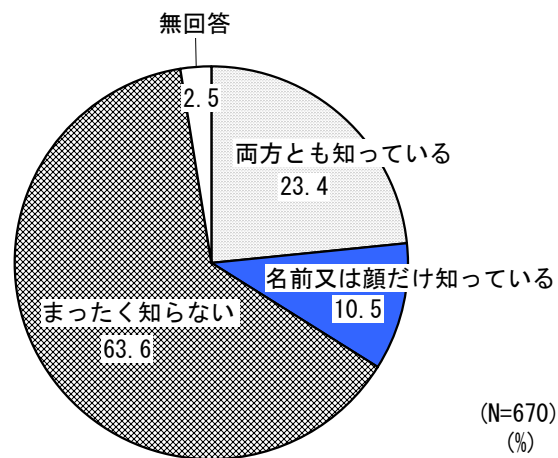
図 3-37 地域の町内会長の名前及び顔の認知状況



地域の町内会長 (自治会長) の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は34.9%、「名前又は顔だけ知っている」は19.7%となっている。

## カ 地域の民生委員の認知状況

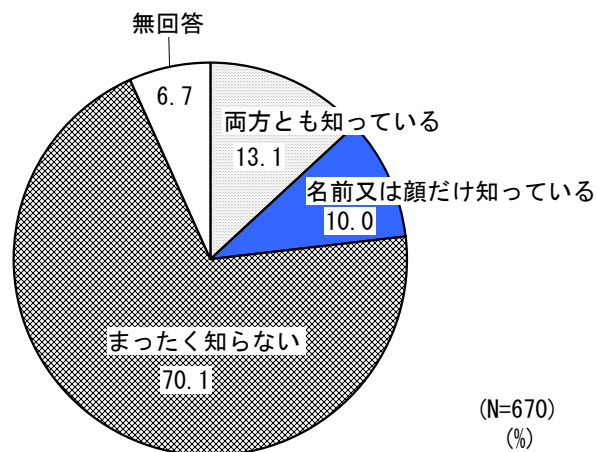
図 3-42 地域の民生委員の名前及び顔の認知状況



地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は23.4%、「名前又は顔だけ知っている」は10.5%となっている。

## キ 地域の老人福祉員の認知状況

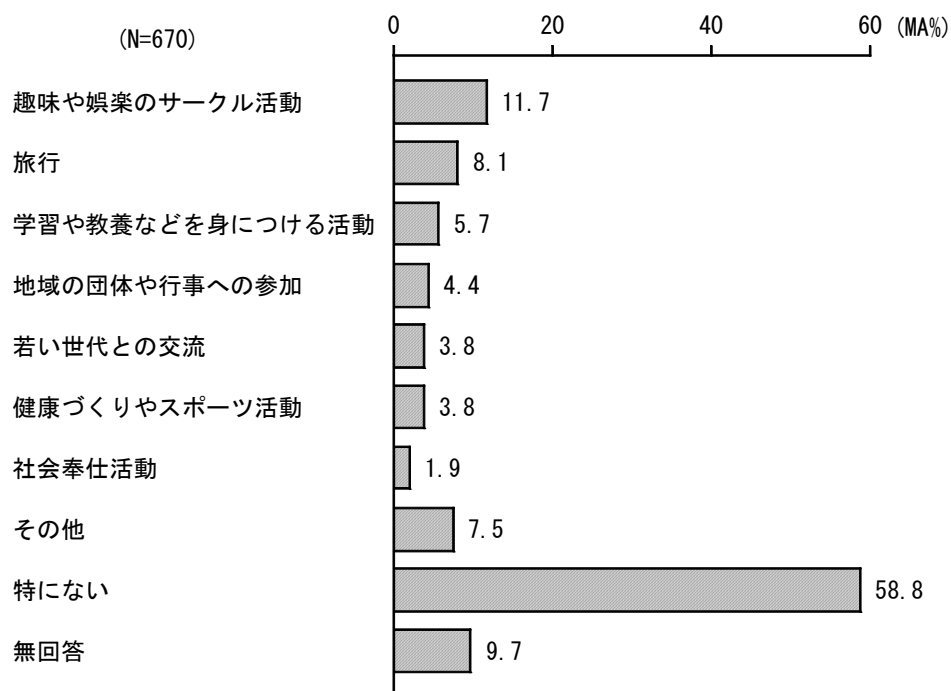
図 3-47 地域の老人福祉員の名前及び顔の認知状況



地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は13.1%、「名前又は顔だけ知っている」は10.0%となっている。

## (7) 生きがいを感じる活動

図 3-52 生きがいを感じる活動

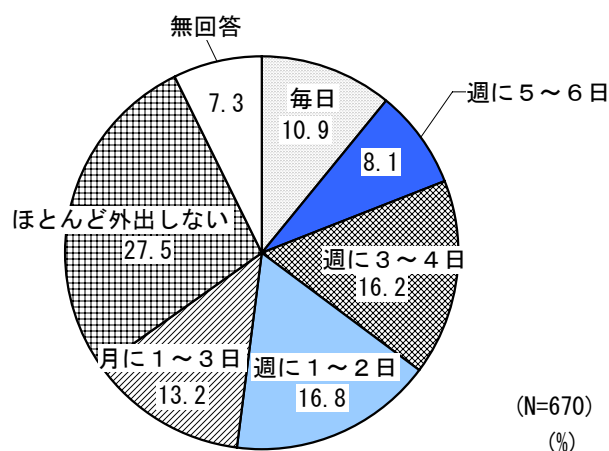


現在生きがいを感じる活動については、「特にない」が58.8%を占めている。生きがいを感じる活動としては、「趣味や娯楽のサークル活動」が11.7%、「旅行」が8.1%、「学習や強要などを身につける活動」が5.7%などとなっている。

## (8) 外出の状況

### ア 外出の頻度

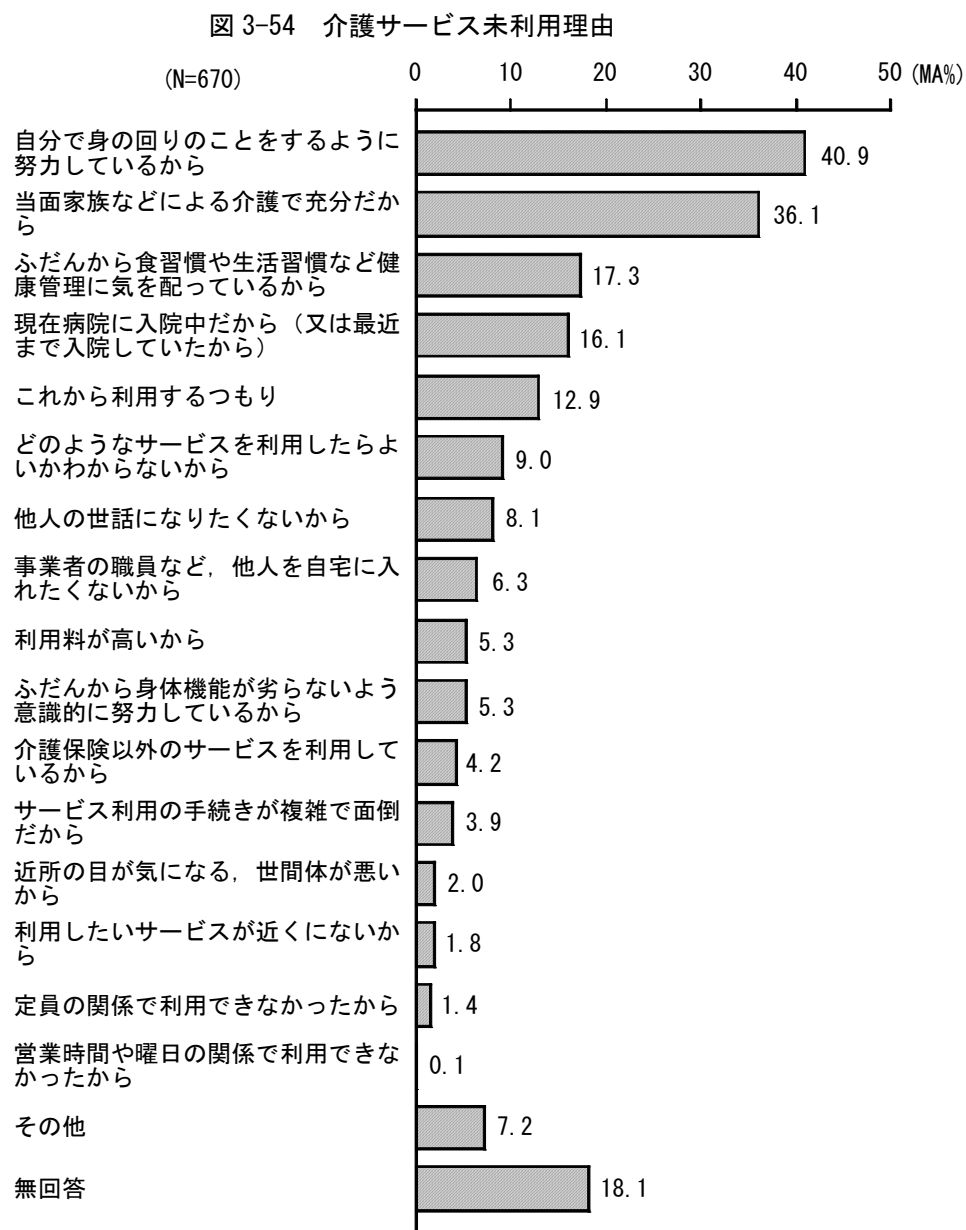
図 3-53 外出の頻度



外出する頻度をみると、「ほとんど外出しない」が27.5%と最も多く、次いで「週に1~2日」(16.8%)、「週に3~4日」(16.2%)となっている。

### 3 介護保険サービスの利用状況

#### (1) 介護サービス未利用理由



介護サービスの未利用理由については、「自分で身の回りのことをするように努力しているから」が40.9%で最も多く、次いで「当面家族などによる介護で充分だから」が36.1%、「ふだんから食習慣や生活習慣など健康管理に気を配っているから」が17.3%、「現在病院に入院中だから (又は最近まで入院していたから)」が16.1%などとなっている。

表 3-54 要介護度別 介護サービス未利用理由

		(MA%)													
	調査数 (N)	かす自 ら分 で 身 の 回 り の こ と を す る よ う に 努 力 し て い る か ら	で充 分 だ か ら	当 面 家 族 な ど に よ る 介 護	配 習 慣 な ど の 健 康 管 理 に 気 を 配 つ て い る か ら	ふ だ ん か ら 食 習 慣 や 生 活	い た か ら ( 又 は 最 近 ま で 入 院 し て い た か ら )	現 在 病 院 に 入 院 中 だ か ら	こ れ か ら 利 用 す る つ も り	い か ら の よ う な サ ー ビ ス を 利 用 し た ら よ い か わ か ら な い か ら	い か ら の 世 話 に な り た く な い か ら	ら を 自 宅 に 入 れ た く な い か ら	事 業 者 の 職 員 な ど 、 他 人	し ら な い よ う な か ら 意 識 的 に 努 力 が 劣 り て い る か ら	ふ だ ん か ら 身 体 機 能 が 劣 り て い る か ら
要支援 1	112	64.1	34.0	26.9	3.8	14.7	12.2	9.0	7.1	5.1					
要支援 2	176	48.2	31.7	21.6	7.9	15.8	5.8	5.8	5.0	8.6					
要介護 1	115	54.4	54.4	19.1	8.8	16.2	16.2	14.7	7.4	7.4					
要介護 2	99	40.5	45.9	20.3	12.2	12.2	10.8	8.1	9.5	4.1					
要介護 3	73	12.2	34.1	4.9	31.7	8.5	6.1	9.8	7.3	1.2					
要介護 4	45	7.8	16.9	2.6	37.7	6.5	3.9	2.6	2.6	-					
要介護 5	50	4.1	14.9	1.4	55.4	4.1	1.4	1.4	2.7	2.7					
合計	670	40.9	36.1	17.3	16.1	12.9	9.0	8.1	6.3	5.3					

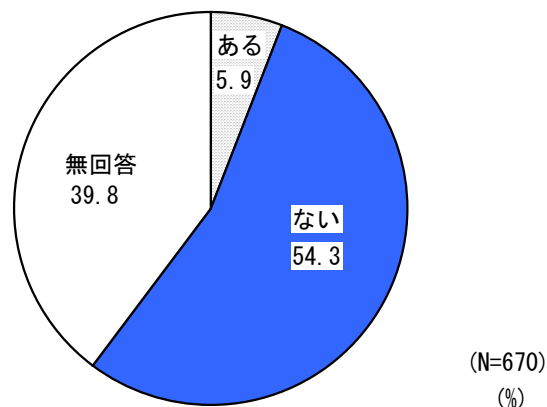
	利 用 料 が 高 い か ら	を 介 護 保 険 し て い る か ら サ ー ビ ス	複 雑 で 面 倒 だ か ら 手 続 き が	間 近 所 の 目 が 気 に な る 、 世	く 利 用 し た い か ら サ ー ビ ス が 近	か つ た か ら 関 係 で 利 用 で き な	定 員 の 関 係 で 利 用 で き な	利 業 時 間 や 曜 日 の 関 係 で	そ の 他	無 回 答
要支援 1	5.1	4.5	5.8	1.3	3.2	-	-	7.7	12.2	
要支援 2	7.9	6.5	4.3	1.4	1.4	0.7	-	7.2	20.1	
要介護 1	5.9	-	2.9	1.5	1.5	-	-	5.9	11.8	
要介護 2	4.1	5.4	4.1	2.7	-	5.4	-	8.1	17.6	
要介護 3	2.4	3.7	4.9	4.9	3.7	-	-	6.1	20.7	
要介護 4	2.6	2.6	2.6	1.3	1.3	2.6	-	7.8	29.9	
要介護 5	4.1	5.4	-	1.4	1.4	2.7	1.4	8.1	25.7	
合計	5.3	4.2	3.9	2.0	1.8	1.4	0.1	7.2	18.1	

介護サービスの未利用理由について要介護度別にみると、要支援1・2は「自分で身の回りのことをするように努力しているから」が最も多く、要介護1は「当面家族などによる介護で充分だから」と「自分で身の回りのことをするように努力しているから」が同率の54.4%で最も多くなっている。要介護4・5の重度では「現在病院に入院中だから（又は最近まで入院していたから）」が最も多くなっている。

## (2) 障害や疾患等を理由にサービス利用を断られた経験

### ア 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無

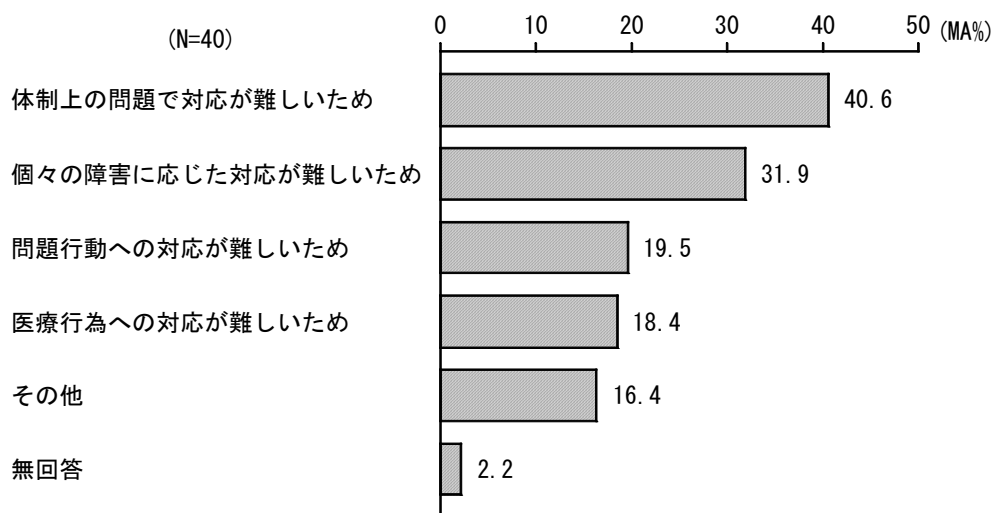
図 3-55 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無



障害や疾患等を理由に事業者から介護保険サービスの利用を断られたことがある人は、5.9%となっている。

### イ 利用を断られた主な理由

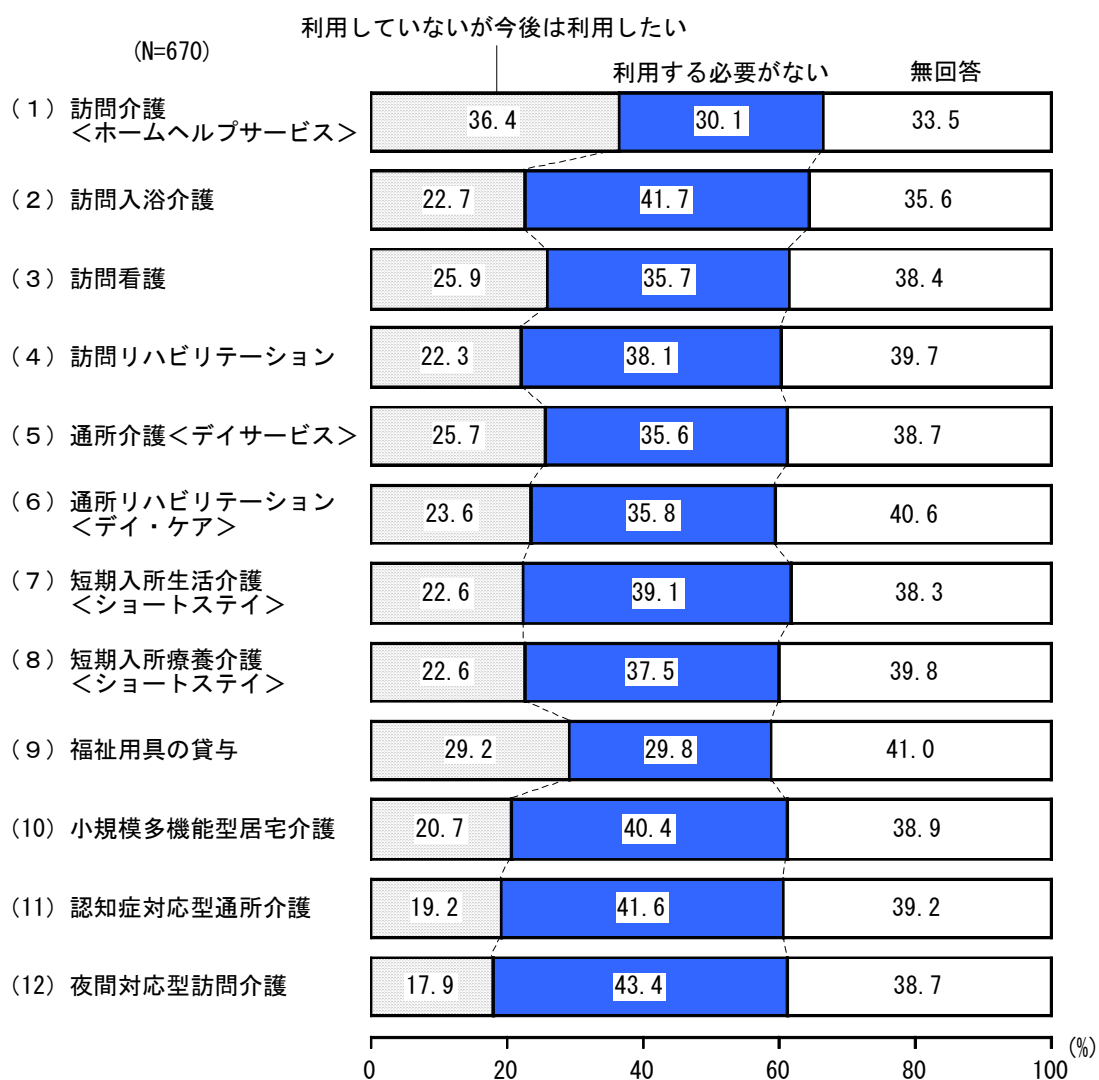
図 3-56 利用を断られた主な理由



サービスの利用を断られた主な理由としては、「体制上の問題で対応が難しいため」が40.6%で最も多く、次いで「個々の障害に応じた対応が難しいため」が31.9%、「問題行動への対応が難しいため」が19.5%となっている。

### (3) 居宅サービスの利用意向

図 3-57 居宅サービスの利用意向



居宅サービスの今後の利用希望については、『(1) 訪問介護 (ホームヘルプサービス)』が 36.4%で最も多くなっており、『(11) 認知症対応型通所介護』と『(12) 夜間対応型訪問介護』以外のサービスでは20%を超えている。



表 3-57 要介護度別 居宅サービスの利用意向

(1) 訪問介護<ホームヘルプサービス>					(2) 訪問入浴介護			(3) 訪問看護			(4) 訪問リハビリテーション		
	調査数 (N)	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	112	28.2	34.6	37.2	14.7	41.0	44.2	18.6	37.8	43.6	16.0	37.2	46.8
要支援 2	176	39.6	31.7	28.8	23.0	48.2	28.8	26.6	38.8	34.5	26.6	38.1	35.3
要介護 1	115	41.2	32.4	26.5	22.1	45.6	32.4	30.9	36.8	32.4	19.1	48.5	32.4
要介護 2	99	43.2	28.4	28.4	24.3	45.9	29.7	28.4	37.8	33.8	23.0	40.5	36.5
要介護 3	73	36.6	24.4	39.0	30.5	32.9	36.6	28.0	30.5	41.5	29.3	28.0	42.7
要介護 4	45	32.5	29.9	37.7	27.3	32.5	40.3	26.0	35.1	39.0	19.5	39.0	41.6
要介護 5	50	21.6	21.6	56.8	21.6	24.3	54.1	20.3	21.6	58.1	18.9	24.3	56.8
合計	670	36.4	30.1	33.5	22.7	41.7	35.6	25.9	35.7	38.4	22.3	38.1	39.7

(5) 通所介護<デイサービス>					(6) 通所リハビリテーション<デイ・ケ>			(7) 短期入所生活介護<ショートステイ>			(8) 短期入所療養介護<ショートステイ>		
	調査数 (N)	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	112	16.0	37.8	46.2	12.8	36.5	50.6	14.7	39.1	46.2	16.0	37.2	46.8
要支援 2	176	28.1	38.8	33.1	27.3	37.4	35.3	23.0	43.9	33.1	22.3	41.7	36.0
要介護 1	115	25.0	41.2	33.8	25.0	39.7	35.3	20.6	47.1	32.4	22.1	45.6	32.4
要介護 2	99	32.4	33.8	33.8	32.4	33.8	33.8	29.7	39.2	31.1	27.0	37.8	35.1
要介護 3	73	34.1	25.6	40.2	25.6	32.9	41.5	29.3	29.3	41.5	29.3	29.3	41.5
要介護 4	45	27.3	32.5	40.3	19.5	36.4	44.2	27.3	31.2	41.6	28.6	27.3	44.2
要介護 5	50	13.5	27.0	59.5	14.9	27.0	58.1	14.9	25.7	59.5	16.2	25.7	58.1
合計	670	25.7	35.6	38.7	23.6	35.8	40.6	22.6	39.1	38.3	22.6	37.5	39.8

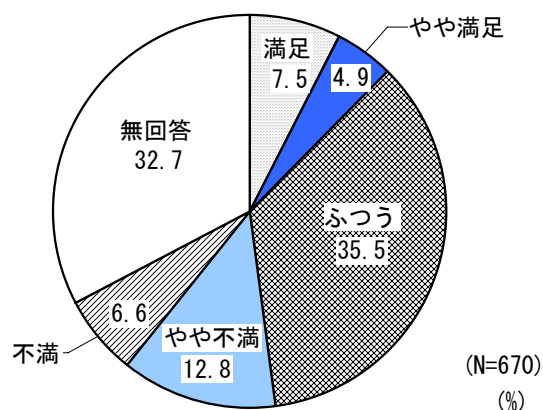
(9) 福祉用具の貸与					(10) 小規模多機能型居宅介護			(11) 認知症対応型通所介護			(12) 夜間対応型訪問介護		
	調査数 (N)	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答	後利は利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	112	21.8	31.4	46.8	20.7	40.4	38.9	19.2	41.6	39.2	17.9	43.4	38.7
要支援 2	176	32.4	31.7	36.0	15.4	37.2	47.4	9.6	42.3	48.1	13.5	40.4	46.2
要介護 1	115	25.0	41.2	33.8	23.7	41.0	35.3	20.1	47.5	32.4	19.4	47.5	33.1
要介護 2	99	41.9	21.6	36.5	20.6	47.1	32.4	16.2	47.1	36.8	14.7	50.0	35.3
要介護 3	73	28.0	23.2	48.8	21.6	44.6	33.8	28.4	37.8	33.8	20.3	45.9	33.8
要介護 4	45	32.5	27.3	40.3	26.8	32.9	40.2	26.8	32.9	40.2	23.2	36.6	40.2
要介護 5	50	17.6	21.6	60.8	20.8	39.0	40.3	24.7	33.8	41.6	22.1	37.7	40.3
合計	670	29.2	29.8	41.0	10.8	33.8	55.4	9.5	33.8	56.8	13.5	31.1	55.4

居宅サービスの今後の利用希望について要介護度別にみると、『(1) 訪問介護 (ホームヘルプサービス)』は要介護 1・2 で、『(9) 福祉用具の貸与』は要介護 2 で、それぞれ40%台と高くなっている。

#### (4) 事業者やサービス内容に関する情報への希望

##### ア 事業者やサービス内容に関する情報への満足度

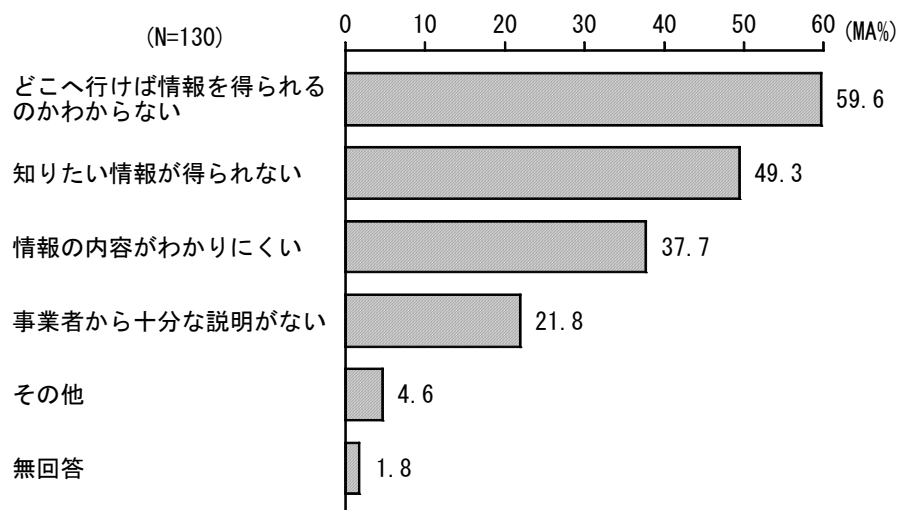
図 3-58 事業者やサービス内容に関する情報への満足度



事業者やサービス内容に関する情報入手について満足している人は、「やや満足」を合わせて全体の12.4%となっており、「不満」に「やや不満」を加えた『不満（計）』は19.4%となっている。

##### イ 不満を感じている点

図 3-59 不満を感じている点

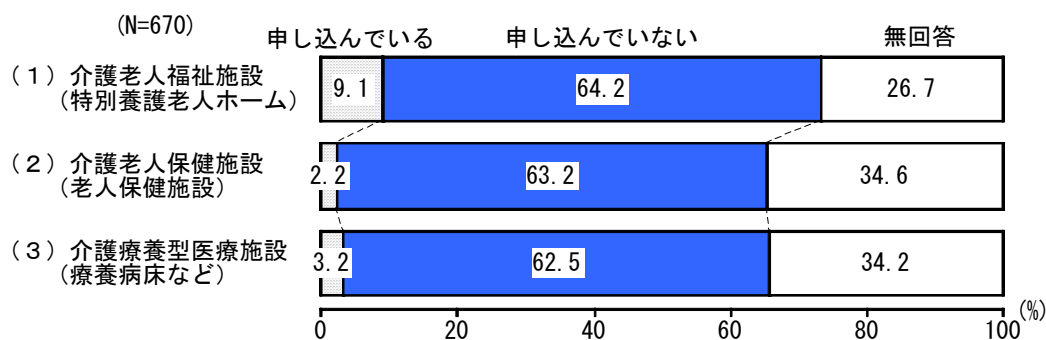


不満を感じている点としては、「どこへ行けば情報を得られるのかわからない」が59.6%と最も多く、次いで「知りたい情報が得られない」(49.3%)、「情報の内容がわかりにくい」(37.7%)、「事業者から十分な説明がない」(21.8%)の順で多くなっている。

## (5) 介護保険施設への入所申込状況

### ア 施設への申込みの有無

図 3-60 施設への申込みの有無



介護保険施設への申込み状況をみると、「申し込んでいる」は、介護老人福祉施設が9.1%、介護老人保健施設が2.2%、介護療養型医療施設が3.2%となっている。

表 3-60 施設への申込みの有無〔前回調査との比較〕

(1) 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

(2) 介護老人保健施設 (老人保健施設)

(3) 介護療養型医療施設 (療養病床など)

	調査数 (N)	(%)		
		申し込んでいる	申し込んでいない	無回答
今回調査 (平成19年)	670	9.1	64.2	26.7
前回調査 (平成16年)	538	6.6	65.6	27.9

	調査数 (N)	(%)		
		申し込んでいる	申し込んでいない	無回答
今回調査 (平成19年)	670	2.2	63.2	34.6
前回調査 (平成16年)	538	3.4	65.4	31.2

	調査数 (N)	(%)		
		申し込んでいる	申し込んでいない	無回答
今回調査 (平成19年)	670	3.2	62.5	34.2
前回調査 (平成16年)	538	3.3	64.7	32.0

介護保険施設への申込み状況を前回調査と比較すると、「申し込んでいる」は介護老人福祉施設で2.5ポイント高くなっているが、他の施設では若干ながら減少している。

表 3-60 要介護度別 施設への申込みの有無

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(2) 介護老人保健施設（老人保健施設）

(3) 介護療養型医療施設（療養病床など）

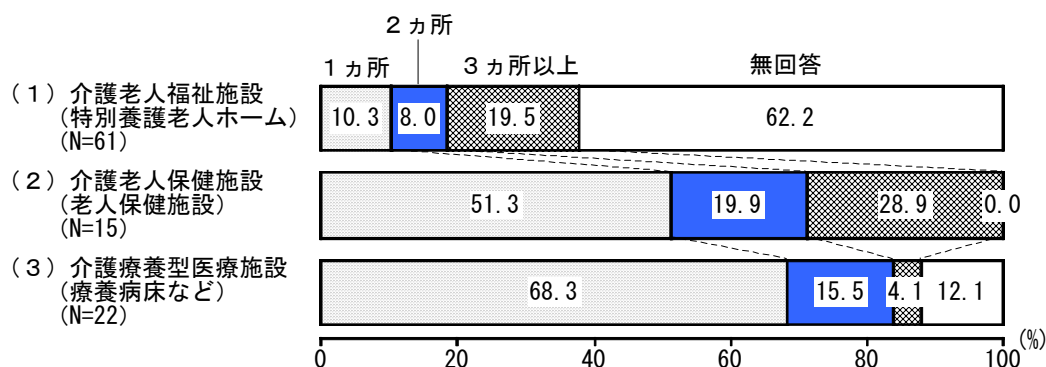
(%)

	(1) 介護老人福祉施設				(2) 介護老人保健施設				(3) 介護療養型医療施設			
	調査数 (N)	申し込んでいる	申し込んでいない	無回答	調査数 (N)	申し込んでいる	申し込んでいない	無回答	調査数 (N)	申し込んでいる	申し込んでいない	無回答
要支援 1	112	7.1	59.6	33.3	112	-	59.0	41.0	112	-	58.3	41.7
要支援 2	176	2.2	71.2	26.6	176	-	70.5	29.5	176	0.7	68.3	30.9
要介護 1	115	1.5	70.6	27.9	115	-	70.6	29.4	115	-	69.1	30.9
要介護 2	99	12.2	70.3	17.6	99	4.1	71.6	24.3	99	1.4	73.0	25.7
要介護 3	73	18.3	58.5	23.2	73	6.1	53.7	40.2	73	8.5	56.1	35.4
要介護 4	45	26.0	50.6	23.4	45	9.1	48.1	42.9	45	11.7	46.8	41.6
要介護 5	50	21.6	43.2	35.1	50	4.1	40.5	55.4	50	14.9	39.2	45.9
合計	670	9.1	64.2	26.7	670	2.2	63.2	34.6	670	3.2	62.5	34.2

介護保険施設への申込み状況を要介護度別にみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設とも要介護 4 で「申し込んでいる」が最も高く、介護療養型医療施設では要介護 5 で最も高い割合となっている。

### イ 申込み施設数

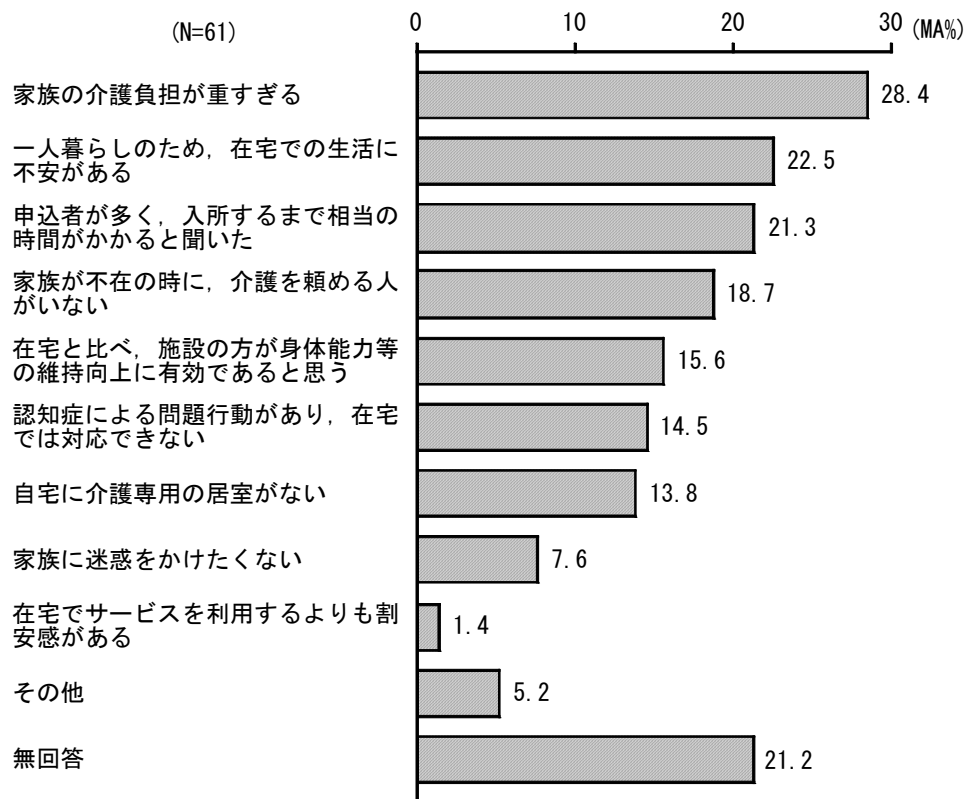
図 3-61 申込み施設数



申込み施設数については、介護老人福祉施設は「3カ所以上」が19.5%と最も多く、次いで「1カ所」(10.3%)となっている。介護老人保健施設及び介護療養型医療施設については、「1カ所」がそれぞれ51.3%、68.3%と過半数を占めている。

## ウ 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由

図 3-62 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由



介護老人福祉施設に入所申込みをした理由としては、「家族の介護負担が重すぎる」が28.4%で最も多く、次いで「一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある」(22.5%)、「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」(21.3%)、「家族が不在の時に、介護を頼める人がいない」(18.7%) などとなっている。

表 3-63 施設への早急な入所希望の有無別 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由

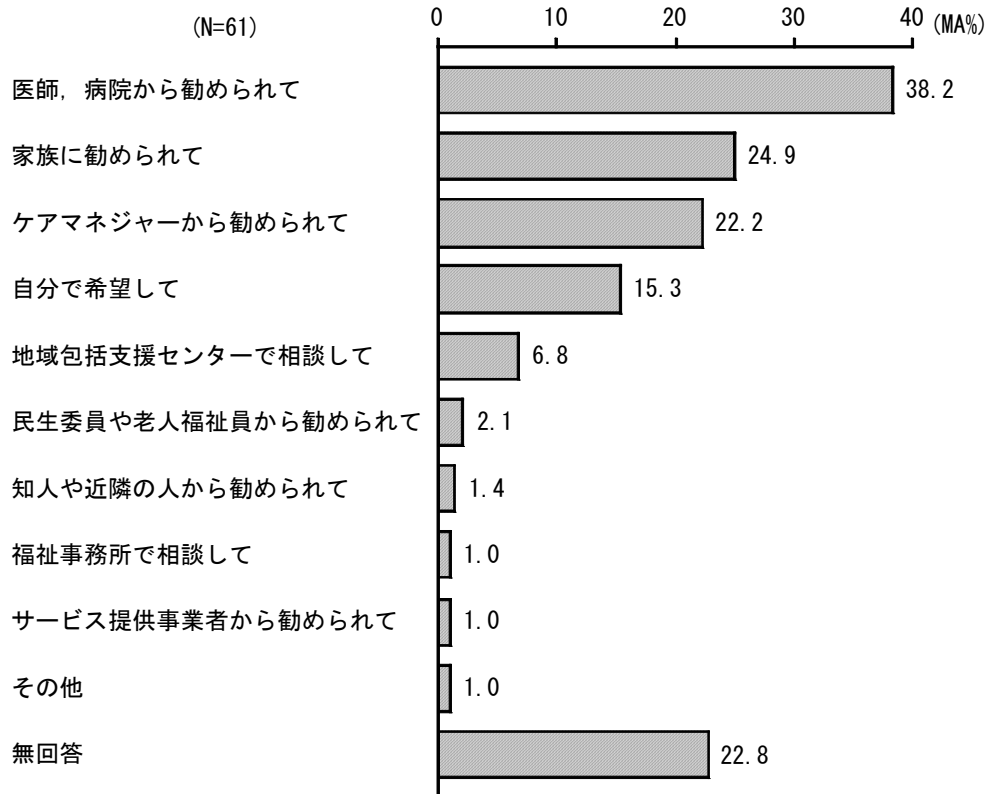
(MA%)

	調査数 (N)	家族の介護負担が重すぎる	一人暮らしのため、活に不安がある	在宅での生活に不安がある	申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた	家族が不在の時に、介護を頼める人がいない	在宅と比べ、施設の方が身体能力等の維持向上に有効であると思ふ	在宅では対応できない認知症による問題行動があり、在宅では対応できない	自宅に介護専用の居室がない	家族に迷惑をかけたくない	在宅でサービスを利用するよりも割安感がある	その他	無回答
早急な入所を希望する	17	41.7	23.1	34.7	33.7	29.4	29.8	35.5	14.7	5.3	-	4.0	
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	8	17.4	9.3	46.4	17.4	26.7	-	9.3	9.3	-	-	35.0	
現在入院中で治療が必要な状態のため、早急な入所を希望しない	15	20.2	13.4	3.9	-	-	12.3	3.9	-	-	12.9	49.0	
その他	8	23.4	19.7	28.1	21.4	15.9	7.5	8.5	11.2	-	7.5	19.7	
無回答	14	30.4	40.6	6.3	20.1	9.6	10.5	4.2	4.2	-	4.8	5.1	
合計	61	28.4	22.5	21.3	18.7	15.6	14.5	13.8	7.6	1.4	5.2	21.2	

介護老人福祉施設に入所申込みをした理由を施設への早急な入所希望の有無別にみると、早急な入所を希望する人及び現在入院中で治療が必要な状態のため、早急な入所を希望しない人は「家族の介護負担が重すぎる」(それぞれ41.7%, 20.2%)が最も多い。しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない人は「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」(46.4%)が最も多くなっている。

## エ 介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけ

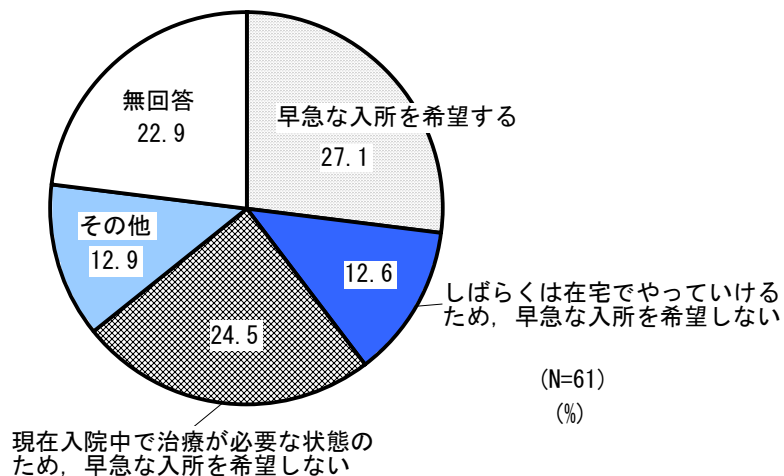
図 3-64 介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけ



介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけについては、「医師、病院から勧められて」が38.2%で最も多く、次いで「家族に勧められて」(24.9%)、「ケアマネジャーから勧められて」(22.2%)が多くなっている。

## オ 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無

図 3-65 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無



介護老人福祉施設への早急な入所を希望している人は27.1%であり、「現在入院中で治療が必要な状態のため、早急な入所を希望しない」が24.5%となっている。

表 3-65 要介護度別 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無

(%)

	調査数 (N)	早急な入所を希望する	いしばらくは在宅でやつてを希望しない、早急な入所	所な現在入院中で治療が必要	を状態のため、早急な入	その他	無回答
要支援 1	8	9.1	36.4	-	-	54.5	
要支援 2	4	33.3	33.3	33.3	-	-	
要介護 1	2	-	-	-	100.0	-	
要介護 2	12	-	22.2	44.4	-	33.3	
要介護 3	13	40.0	6.7	20.0	13.3	20.0	
要介護 4	12	45.0	-	20.0	15.0	20.0	
要介護 5	11	37.5	-	31.3	25.0	6.3	
合計	61	27.1	12.6	24.5	12.9	22.9	

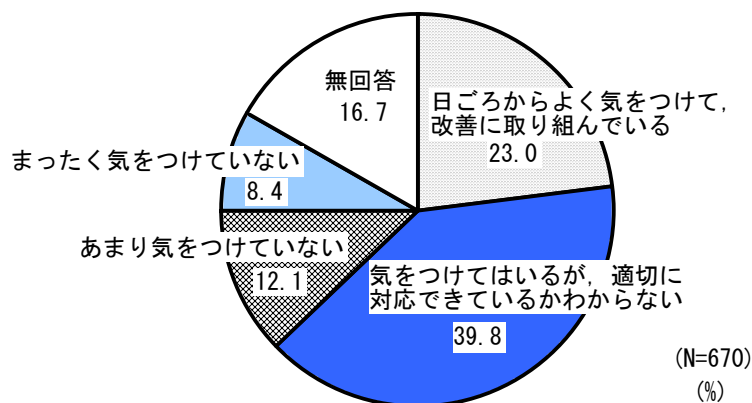
介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無について要介護度別にみると、「早急な入所を希望する」は要介護 1 と要介護 2 以外で回答があり、要介護 3～5 で 4 割前後を占めている。



#### 4 介護予防と介護のあり方について

##### (1) 心身の変化に対する意識

図 3-66 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の62.8%を占め、「改善に取り組んでいる」人は23.0%となっている。

表 3-66 心身の変化への対応・改善の有無〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	日ごろから改善に取り組んでいる (%)	気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない (%)	あまり気をつけていない (%)	まったく気をつけていない (%)	無回答 (%)
今回調査 (平成19年)	670	23.0	39.8	12.1	8.4	16.7
前回調査 (平成16年)	538	24.4	38.7	14.8	6.5	15.6

心身の変化への対応・改善の有無について前回調査と比較すると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は前回 (63.1%) と拮抗しており、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」は前回より1.4ポイント低くなっている。

表 3-66 要介護度別 心身の変化への対応・改善の有無

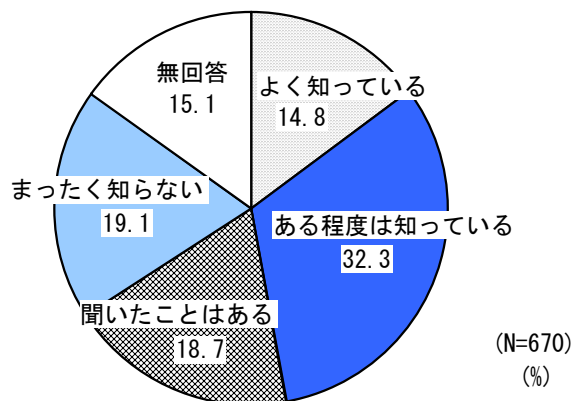
	調査数 (N)	て、日 ごろ 改善 から 取り 組ん でい ける	ない に 対 応 で き て い る か わ か ら な い	あ ま り 気 を つ け て い な い	ま っ た く 気 を つ け て い な い	無 回 答
要支援 1	112	30.8	42.3	8.3	2.6	16.0
要支援 2	176	30.2	45.3	8.6	3.6	12.2
要介護 1	115	22.1	42.6	17.6	2.9	14.7
要介護 2	99	28.4	33.8	12.2	14.9	10.8
要介護 3	73	9.8	45.1	15.9	13.4	15.9
要介護 4	45	9.1	26.0	16.9	23.4	24.7
要介護 5	50	4.1	24.3	9.5	17.6	44.6
合計	670	23.0	39.8	12.1	8.4	16.7

心身の変化への対応・改善の有無について要介護度別にみると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は要支援 1・2 で70%台となっているが、要介護度が上がるほど割合は低くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 介護予防の認知状況

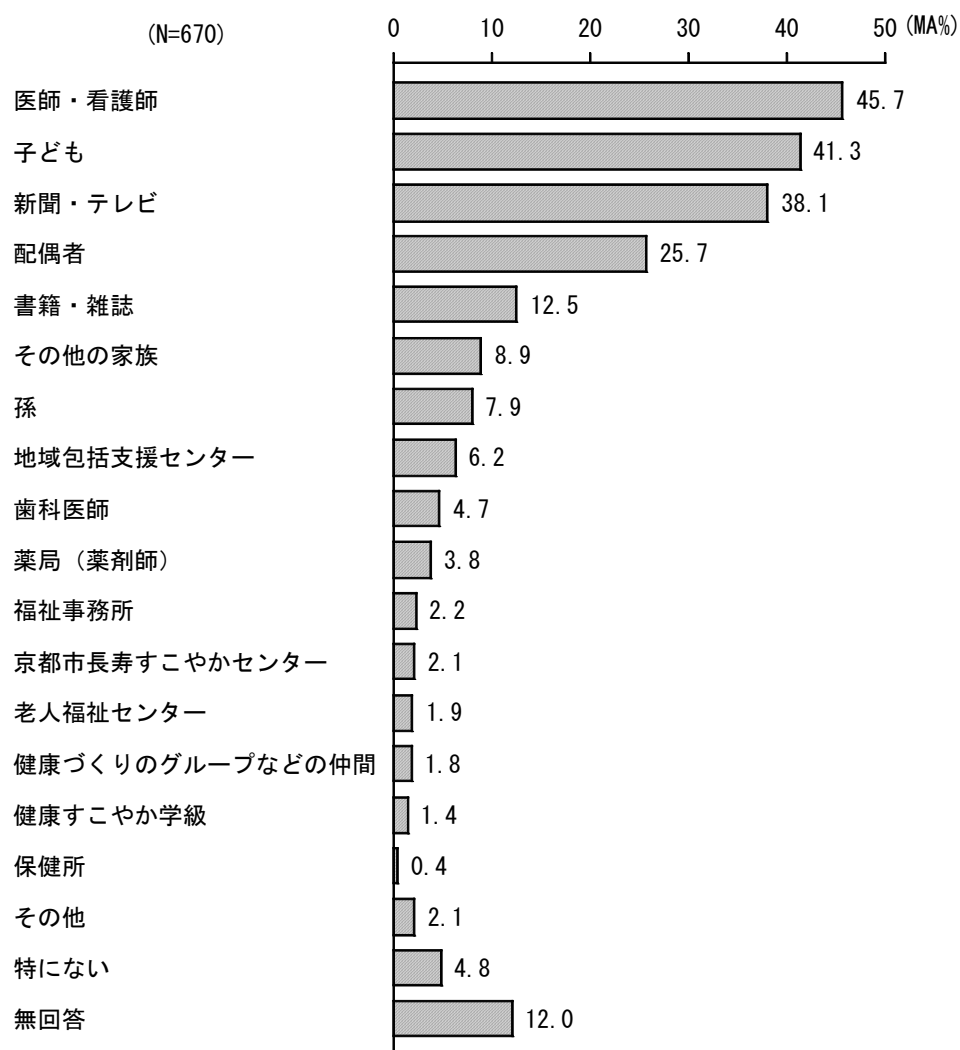
図 3-67 介護予防の認知状況



介護予防について、『知っている (計)』(「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合) と答えた人は47.1%となっている。

## イ 介護予防等に関する情報の入手方法

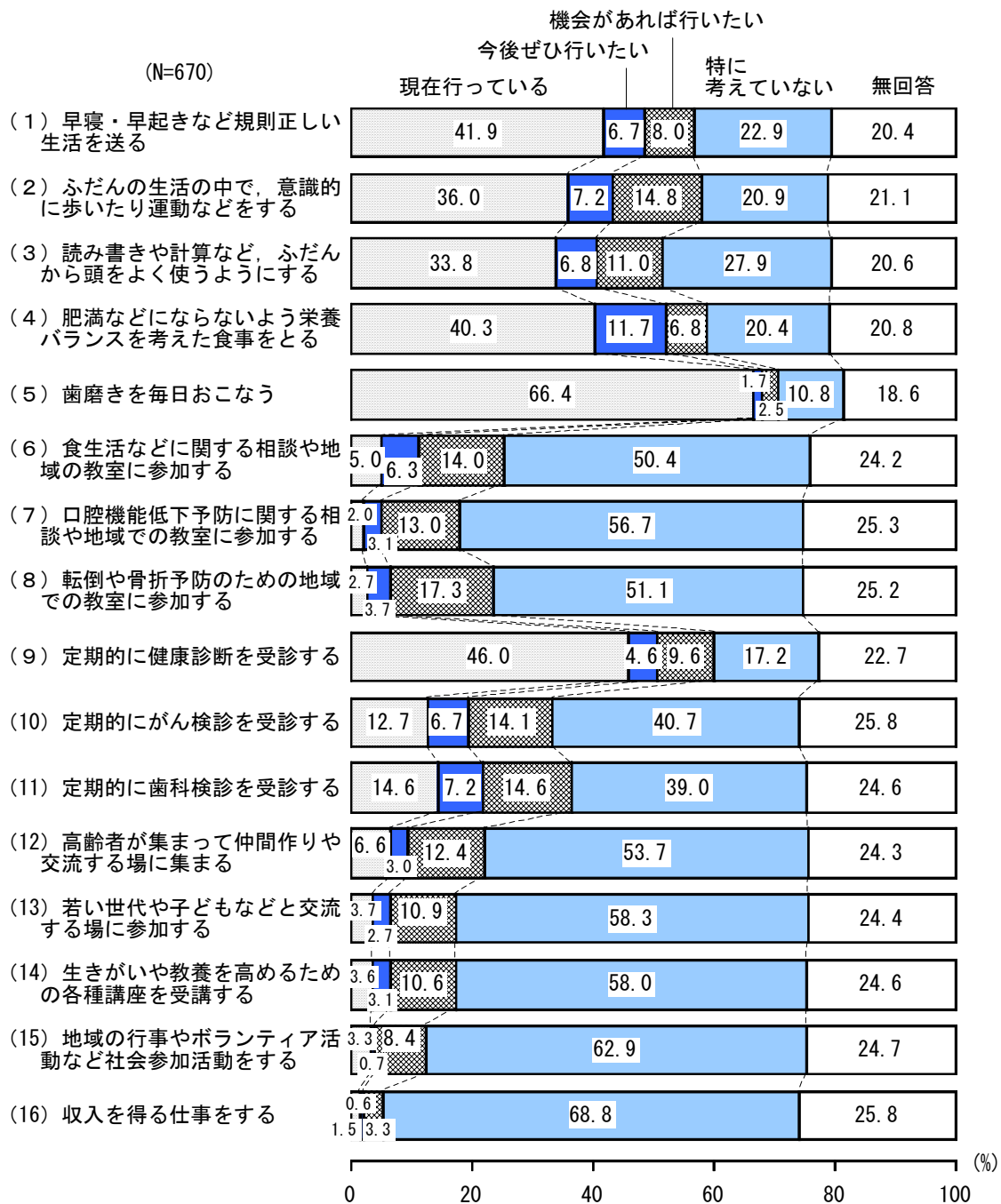
図 3-68 介護予防等に関する情報の入手方法



介護予防等に関する情報の入手方法は、「医師・看護師」が45.7%と最も多く、次いで「子ども」が41.3%、「新聞・テレビ」が38.1%となっている。

## ウ 病気・老化の予防のため取り組んでいること

図 3-69 病気・老化の予防のため取り組んでいること



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、『歯磨きを毎日おこなう』が66.4%と最も多く、次いで『定期的に健康診断を受診する』(46.0%)、『早寝・早起きなど規則正しい生活を送る』(41.9%)、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』(40.3%) などとなっている。

今後、取組意向(「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合)の高い活動は、『ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする』(22.0%)、『定期的に歯科検診を受診する』(21.8%)、『転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する』(21.0%)、『定期的ながん検診を受診する』(20.8%)、『食生活などに関する相談や地域の教室に参加する』(20.3%) などである。

表 3-69 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること①

- (1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る (2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする (3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援 1	112	41.0	10.3	7.1	23.7	17.9	47.4	9.6	9.6	16.0	17.3	43.6	7.1	9.0	20.5	19.9
要支援 2	176	55.4	7.2	8.6	16.5	12.2	43.9	11.5	12.9	17.3	14.4	47.5	7.9	10.8	20.1	13.7
要介護 1	115	48.5	4.4	10.3	22.1	14.7	41.2	5.9	16.2	20.6	16.2	27.9	10.3	19.1	27.9	14.7
要介護 2	99	41.9	8.1	10.8	20.3	18.9	40.5	2.7	21.6	20.3	14.9	40.5	2.7	6.8	37.8	12.2
要介護 3	73	29.3	4.9	6.1	32.9	26.8	18.3	7.3	19.5	26.8	28.0	17.1	6.1	9.8	39.0	28.0
要介護 4	45	19.5	3.9	6.5	36.4	33.8	14.3	2.6	10.4	36.4	36.4	7.8	3.9	11.7	42.9	33.8
要介護 5	50	20.3	4.1	1.4	24.3	50.0	6.8	2.7	13.5	24.3	52.7	12.2	5.4	6.8	21.6	54.1
合計	670	41.9	6.7	8.0	22.9	20.4	36.0	7.2	14.8	20.9	21.1	33.8	6.8	11.0	27.9	20.6

- (4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる (5) 歯磨きを毎日おこなう (6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援 1	112	44.2	13.5	6.4	17.9	17.9	75.0	3.2	2.6	4.5	14.7	7.1	5.8	17.9	44.2	25.0
要支援 2	176	49.6	17.3	5.8	15.1	12.2	79.1	2.9	0.7	7.2	10.1	5.8	7.2	21.6	46.8	18.7
要介護 1	115	50.0	7.4	8.8	16.2	17.6	77.9	-	1.5	5.9	14.7	4.4	10.3	7.4	58.8	19.1
要介護 2	99	39.2	12.2	6.8	25.7	16.2	68.9	-	4.1	13.5	13.5	5.4	5.4	14.9	58.1	16.2
要介護 3	73	25.6	9.8	7.3	30.5	26.8	48.8	3.7	6.1	17.1	24.4	3.7	4.9	8.5	54.9	28.0
要介護 4	45	22.1	2.6	7.8	31.2	36.4	31.2	-	5.2	29.9	33.8	3.9	1.3	3.9	54.5	36.4
要介護 5	50	16.2	8.1	5.4	18.9	51.4	28.4	-	-	17.6	54.1	1.4	4.1	9.5	32.4	52.7
合計	670	40.3	11.7	6.8	20.4	20.8	66.4	1.7	2.5	10.8	18.6	5.0	6.3	14.0	50.4	24.2

- (7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する (8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する (9) 定期的に健康診断を受診する (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援 1	112	1.3	3.8	19.9	50.6	24.4	2.6	7.7	16.0	47.4	26.3	45.5	5.8	12.2	15.4	21.2
要支援 2	176	4.3	2.9	14.4	58.3	20.1	5.8	4.3	19.4	51.1	19.4	51.8	5.8	11.5	15.1	15.8
要介護 1	115	-	5.9	10.3	64.7	19.1	2.9	2.9	17.6	57.4	19.1	58.8	7.4	4.4	8.8	20.6
要介護 2	99	1.4	1.4	13.5	62.2	21.6	-	1.4	23.0	55.4	20.3	52.7	1.4	10.8	20.3	14.9
要介護 3	73	1.2	1.2	13.4	56.1	28.0	1.2	2.4	15.9	51.2	29.3	34.1	3.7	9.8	24.4	28.0
要介護 4	45	2.6	1.3	3.9	55.8	36.4	-	5.2	5.2	54.5	35.1	26.0	3.9	10.4	26.0	33.8
要介護 5	50	1.4	4.1	5.4	36.5	52.7	1.4	-	13.5	32.4	52.7	18.9	-	5.4	23.0	52.7
合計	670	2.0	3.1	13.0	56.7	25.3	2.7	3.7	17.3	51.1	25.2	46.0	4.6	9.6	17.2	22.7

- (10) 定期的になんか検診を受診する (11) 定期的になんか検診を受診する (12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場集まる (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援 1	112	12.8	8.3	12.2	35.9	30.8	16.7	7.7	14.1	34.0	27.6	7.7	5.8	14.7	45.5	26.3
要支援 2	176	20.1	7.2	17.3	36.0	19.4	20.1	5.8	17.3	36.7	20.1	12.9	2.2	14.4	52.5	18.0
要介護 1	115	10.3	8.8	14.7	48.5	17.6	16.2	14.7	11.8	39.7	17.6	4.4	2.9	8.8	66.2	17.6
要介護 2	99	14.9	4.1	17.6	44.6	18.9	13.5	5.4	16.2	48.6	16.2	4.1	1.4	13.5	62.2	18.9
要介護 3	73	7.3	9.8	12.2	42.7	28.0	9.8	6.1	19.5	36.6	28.0	3.7	3.7	12.2	52.4	28.0
要介護 4	45	5.2	1.3	9.1	46.8	37.7	5.2	1.3	10.4	48.1	35.1	1.3	2.6	9.1	51.9	35.1
要介護 5	50	1.4	2.7	6.8	33.8	55.4	4.1	4.1	6.8	32.4	52.7	1.4	2.7	9.5	33.8	52.7
合計	670	12.7	6.7	14.1	40.7	25.8	14.6	7.2	14.6	39.0	24.6	6.6	3.0	12.4	53.7	24.3

表 3-69 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること②

(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する

(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する

(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする

	調査数 (N)	(13)					(14)					(15)				
		現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援1	112	4.5	5.1	12.2	48.7	29.5	3.8	4.5	12.8	48.1	30.8	3.2	0.6	11.5	57.1	27.6
要支援2	176	7.9	2.2	10.8	61.9	17.3	7.9	2.9	13.7	58.3	17.3	5.8	-	10.8	65.5	18.0
要介護1	115	1.5	2.9	13.2	64.7	17.6	2.9	4.4	10.3	66.2	16.2	2.9	-	7.4	72.1	17.6
要介護2	99	4.1	-	13.5	64.9	17.6	1.4	2.7	12.2	64.9	18.9	4.1	1.4	10.8	63.5	20.3
要介護3	73	-	3.7	7.3	61.0	28.0	1.2	3.7	6.1	61.0	28.0	-	3.7	3.7	64.6	28.0
要介護4	45	-	3.9	7.8	53.2	35.1	1.3	1.3	3.9	58.4	35.1	1.3	-	3.9	59.7	35.1
要介護5	50	-	1.4	5.4	40.5	52.7	-	-	5.4	41.9	52.7	1.4	-	1.4	44.6	52.7
合計	670	3.7	2.7	10.9	58.3	24.4	3.6	3.1	10.6	58.0	24.6	3.3	0.7	8.4	62.9	24.7

(16) 収入を得る仕事をする

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援1	112	1.3	0.6	6.4	61.5	30.1
要支援2	176	2.2	0.7	3.6	74.8	18.7
要介護1	115	1.5	-	1.5	77.9	19.1
要介護2	99	1.4	1.4	2.7	73.0	21.6
要介護3	73	1.2	1.2	3.7	65.9	28.0
要介護4	45	1.3	-	3.9	59.7	35.1
要介護5	50	-	-	-	47.3	52.7
合計	670	1.5	0.6	3.3	68.8	25.8

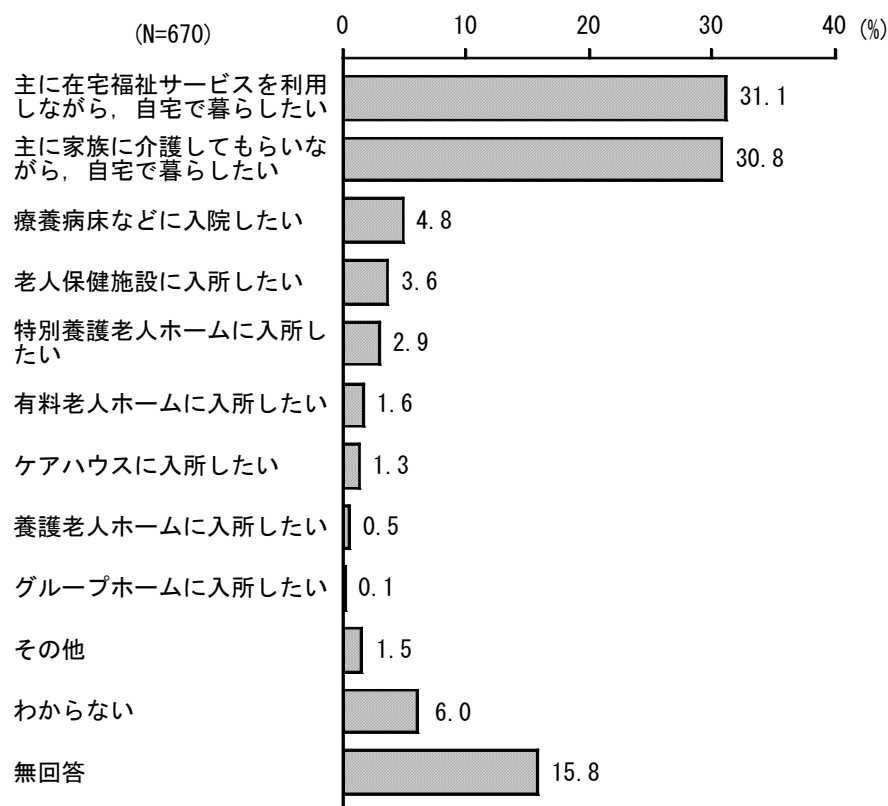
病気・老化予防のために取り組んでいることについて要介護度別にみると、『ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする』と『歯磨きを毎日おこなう』は要支援1・2で高く、要介護度が上がるほど割合が低くなる傾向がみられる。

今後、取組意向（「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合）の高い活動について要介護度別にみると、『読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする』は要介護1で、『食生活などに関する相談や地域の教室に参加する』は要支援2で最も高く、『転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する』や『定期的ながん検診を受診する』、『定期的に歯科検診を受診する』などは要支援1～要介護3で割合が高くなっている。

### (3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

#### ア 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 3-70 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が31.1%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が30.8%となっており、合計すると全体の61.9%が自宅での生活を希望している。

表 3-70 世帯構成別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

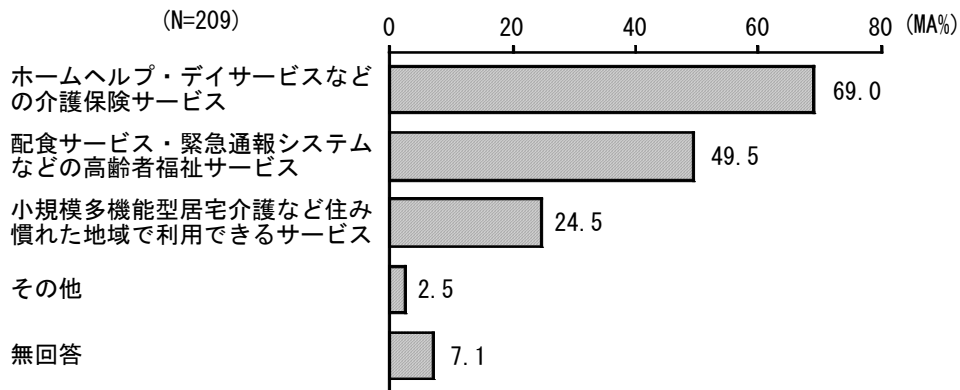
(%)

	調査数 (N)	主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	老人保健施設に入所したい	療養病床などに入院したい	特別養護老人ホームに入所したい	グループホームに入所したい	養護老人ホームに入所したい	ケアハウスに入所したい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答
ひとり暮らし	138	31.7	12.2	5.2	5.6	6.2	-	1.0	4.6	1.5	2.6	5.9	23.6
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	213	29.3	38.7	3.1	2.6	1.8	0.3	-	0.8	3.1	0.4	5.6	14.3
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	11	37.5	6.4	-	-	-	-	7.9	6.4	-	-	15.7	26.2
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	5	37.4	38.8	-	-	23.9	-	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
あなたと親 (二世帯同居)	7	48.9	32.6	-	-	-	-	-	-	-	-	18.5	-
あなたと子供 (二世帯同居)	180	33.4	37.0	2.9	5.1	2.9	-	-	-	-	2.0	5.1	11.5
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	73	33.2	29.9	3.6	7.7	0.8	-	-	-	2.0	1.2	9.2	12.3
あなたと親と子供 (三世帯同居)	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	16	17.0	41.4	8.0	17.8	-	-	-	-	-	8.0	3.7	4.2
無回答	23	23.3	23.9	3.8	-	-	-	3.8	-	2.5	-	3.8	38.9
合計	670	31.1	30.8	3.6	4.8	2.9	0.1	0.5	1.3	1.6	1.5	6.0	15.8

介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方を世帯構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦のみ (いずれかが65歳以上の夫婦世帯)、あなたと親 (二世帯同居)、あなたと子供と孫 (三世帯同居) は「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が最も多く、それ以外の世帯は「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」となっており、いずれの世帯も自宅で暮らすことを望んでいることがうかがえる。

### イ 在宅福祉サービスの利用意向

図 3-75 在宅福祉サービスの利用意向

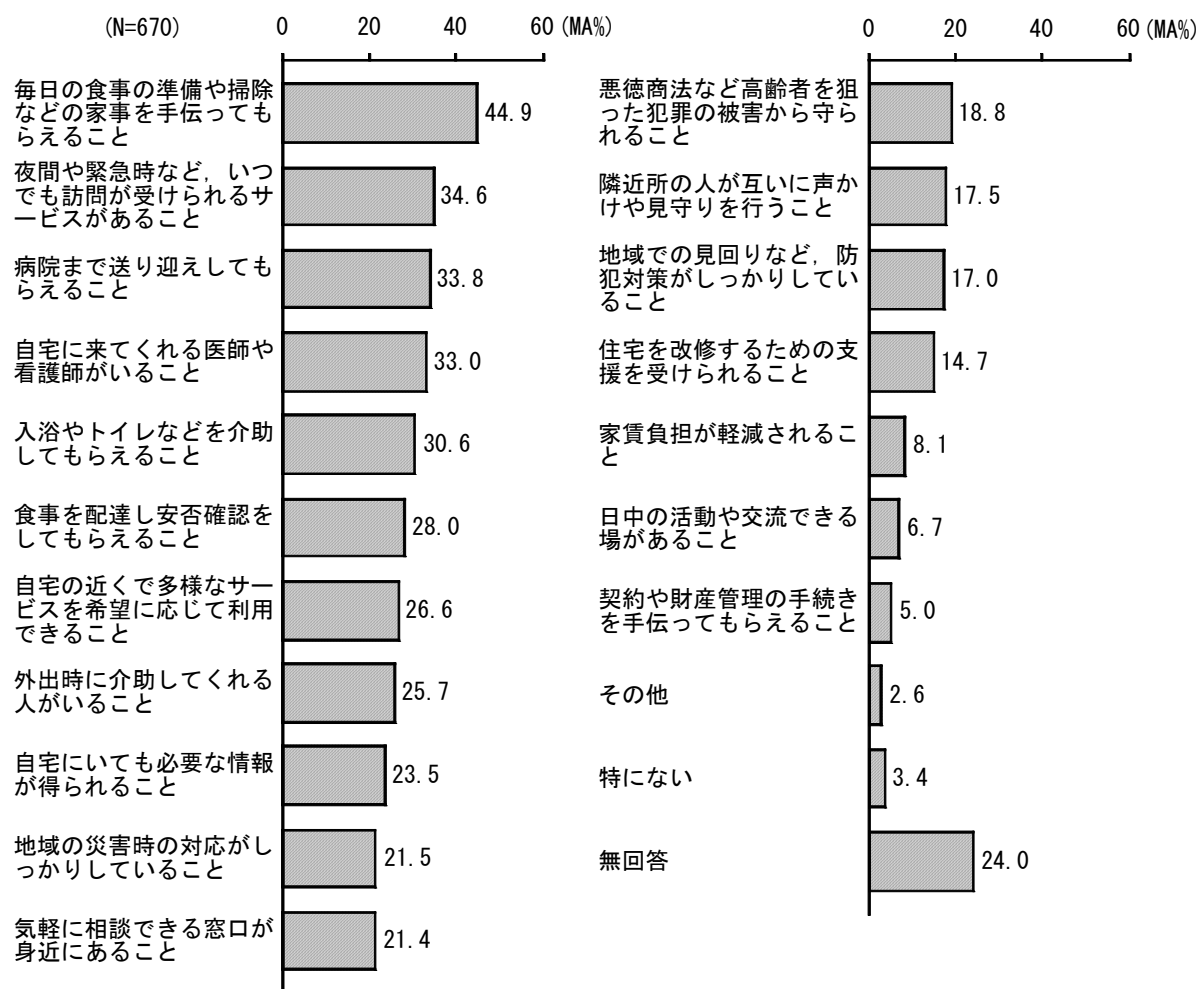


自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合に利用したいサービスについては、「ホームヘルプ・デイサービスなどの介護保険サービス」が69.0%で最も多く、次いで「配食サービス・緊急通報システムなどの高齢者福祉サービス」(49.5%)となっている。



#### (4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 3-76 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が44.9%と最も多く、次いで「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」(34.6%)、「病院まで送り迎えしてもらえること」(33.8%)、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(33.0%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(30.6%) などとなっている。

表 3-76 世帯構成別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝って	サービスがあること	夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられること	病院まで送り迎えしてもらえること	看護師が来てくれること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	食事を配達し安否確認をしてもらえること	自宅の近くで多様なサービス希望に応じて利用できること	外出時に介助してくれる人がいること	自宅にいても必要な情報が得られること	(MA%) 地域の災害時の対応が
ひとり暮らし	138	46.6	34.8	26.9	25.0	31.9	31.3	20.4	20.3	19.8	18.6	
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	213	49.0	37.9	33.7	33.3	25.0	31.2	24.3	25.8	23.7	24.0	
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	11	35.2	27.7	40.5	27.7	31.8	27.7	6.4	50.2	32.6	6.4	
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	5	37.4	13.5	49.2	13.5	37.4	37.4	37.4	13.5	13.5	13.5	
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
あなたと親 (二世帯同居)	7	48.9	-	23.3	-	25.6	25.6	-	-	25.6	17.5	
あなたと子供 (二世帯同居)	180	43.3	33.7	39.8	43.0	35.4	26.1	34.3	31.4	28.0	25.2	
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	73	42.9	40.1	36.3	35.3	36.9	21.0	37.8	23.2	19.9	18.4	
あなたと親と子供 (三世帯同居)	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	
その他	16	38.8	33.2	33.5	34.5	44.4	29.7	22.8	21.8	33.7	19.7	
無回答	23	25.0	10.3	21.2	12.7	10.3	10.3	6.9	18.1	13.9	10.9	
合計	670	44.9	34.6	33.8	33.0	30.6	28.0	26.6	25.7	23.5	21.5	

	身気近軽に相談できる窓口があること	狙われた犯罪の被害者から守られること	悪徳商法など高齢者を狙う犯罪の被害者から守られること	隣近所の人が行うこと	犯罪対策の見回りなど、防犯対策がしっかりと行われていること	住宅を改修するための支援を受けられること	と家賃負担が軽減されること	日中の活動や交流できる場があること	を契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	その他	特にな	無回答
ひとり暮らし	14.2	19.5	23.6	11.8	11.7	11.1	7.8	5.3	2.5	2.8	29.9	
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	22.1	18.0	19.0	20.2	13.4	7.2	6.9	5.4	1.5	4.5	23.6	
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	27.7	11.2	17.6	12.7	-	11.2	-	6.4	7.9	-	41.9	
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	-	13.5	13.5	13.5	-	-	-	-	-	-	37.4	
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
あなたと親 (二世帯同居)	-	17.5	-	-	-	-	-	8.1	-	32.6	18.5	
あなたと子供 (二世帯同居)	27.5	22.5	15.5	21.0	19.4	8.1	7.3	5.6	1.8	2.0	18.8	
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	19.0	17.5	13.2	14.3	22.7	7.5	9.0	4.4	8.3	2.8	16.2	
あなたと親と子供 (三世帯同居)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	29.7	3.7	16.2	8.0	5.6	5.6	-	-	3.7	4.5	8.4	
無回答	17.7	16.3	5.4	10.9	5.4	5.4	-	-	-	3.8	53.5	
合計	21.4	18.8	17.5	17.0	14.7	8.1	6.7	5.0	2.6	3.4	24.0	

在宅生活を続けていく上で必要な支援について世帯構成別にみると、夫婦のみ世帯（いずれかが65歳以上の夫婦世帯）では「外出時に介抱してくれる人がいること」（50.2%）が最も多く、兄弟姉妹のみ（全員65歳以上）では「病院まで送り迎えしてもらえること」（49.2%）が最も多い。それ以外の世帯では「毎日の食事を準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が最も多くなっている。また、ひとり暮らしでは「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」、「食事を配達し安否確認をしてもらえること」が30%台と多くなっている。

表 3-76 要介護度別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

(MA%)

	調査数 (N)	毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること	いつでも訪問が受けられるサービスがあること	夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられること	病院まで送り迎えしてもらえること	自宅に来てくれる医師や看護師がいること	入浴やトイレなどを介助してもらええること	食事を配達し安否確認をしてもらえること	自宅の近くで多様なサービス希望に応じて利用できること	外出時に介助してくれる人がいること	自宅にいても必要な情報が得られること	地域の災害時の対応が
要支援1	112	46.2	30.8	34.0	26.9	19.2	30.1	23.7	19.9	23.1	23.1	
要支援2	176	48.2	38.1	28.8	34.5	24.5	27.3	27.3	26.6	29.5	23.0	
要介護1	115	52.9	38.2	52.9	39.7	35.3	38.2	30.9	38.2	27.9	26.5	
要介護2	99	45.9	31.1	31.1	36.5	33.8	25.7	31.1	23.0	17.6	21.6	
要介護3	73	36.6	31.7	31.7	23.2	41.5	19.5	20.7	25.6	19.5	13.4	
要介護4	45	37.7	45.5	32.5	36.4	46.8	26.0	29.9	23.4	19.5	20.8	
要介護5	50	28.4	23.0	16.2	29.7	29.7	20.3	17.6	13.5	14.9	13.5	
合計	670	44.9	34.6	33.8	33.0	30.6	28.0	26.6	25.7	23.5	21.5	

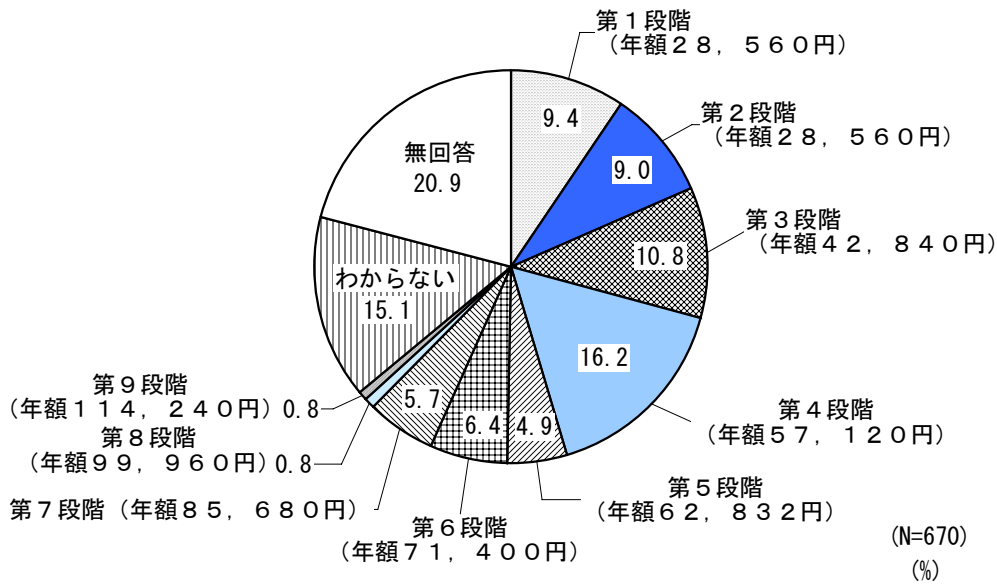
	身気軽に相談できる窓口があること	狙われた犯罪の被害から守られること	悪徳商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること	隣近所の人が行うことか	地域での見回りなど、防犯対策がしっかりと行われていること	住宅を改修するための支援を受けられること	家賃負担が軽減されること	日中の活動や交流できる場があること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	その他	特になし	無回答
要支援1	23.7	16.0	19.9	19.9	13.5	2.6	5.8	3.2	3.8	1.9	26.9	
要支援2	23.0	20.9	19.4	19.4	15.1	7.9	8.6	5.0	2.9	2.9	21.6	
要介護1	26.5	25.0	19.1	22.1	17.6	7.4	7.4	8.8	-	1.5	14.7	
要介護2	23.0	14.9	16.2	14.9	13.5	8.1	6.8	5.4	1.4	5.4	23.0	
要介護3	12.2	14.6	11.0	7.3	17.1	13.4	4.9	2.4	2.4	6.1	22.0	
要介護4	18.2	22.1	22.1	16.9	14.3	18.2	9.1	5.2	7.8	5.2	24.7	
要介護5	12.2	14.9	9.5	8.1	8.1	5.4	1.4	2.7	2.7	4.1	51.4	
合計	21.4	18.8	17.5	17.0	14.7	8.1	6.7	5.0	2.6	3.4	24.0	

在宅生活を続けていく上で必要な支援について要介護度別にみると、要支援1～要介護2は「毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること」が最も多く、要介護3以上は「入浴やトイレなどを介助してもらえること」が最も多くなっている。また、「病院まで送り迎えしてもらえること」は要介護1が、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」と「家賃負担が軽減されること」は要介護4が、他の要介護度に比べて高くなっている。

## 5 介護保険制度について

### (1) 第1号被保険者保険料の所得段階区分

図 3-79 第1号被保険者保険料の所得段階区分

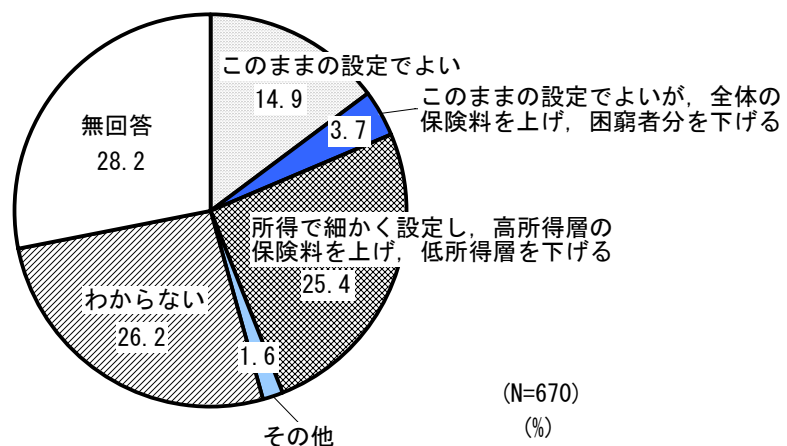


第1号被保険者保険料の所得段階区分は、「第4段階」が16.2%、「第3段階」が10.8%と多くなっている。

### (2) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

#### ア 介護保険料の設定について

図 3-80 介護保険料の設定について



第1号被保険者の所得段階区分別保険料の設定方法については、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が25.4%と多く、「このままの設定でよい」は14.9%、「このままの設定でよいが、全体の保険料を上げ、困窮者分を下げる」は3.7%となっている。

表 3-80 介護保険料の設定について〔前回調査との比較〕

(%)

	調査数 (N)	このままの設定でよい	が、このままの設定でよい 困窮者分を下げを上げる	低所得層を保険料を上げる	所得で細かく設定し、高所得層を下げる	その他	わからない	無回答
今回調査 (平成19年)	670	14.9	3.7	25.4	1.6	26.2	28.2	
前回調査 (平成16年)	538	20.5	5.2	22.1	1.7	22.7	27.8	

介護保険料の設定方法について前回調査と比較すると、「このままの設定でよい」は前回よりも5.6ポイント低く、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が3.3ポイント高くなっている。

表 3-81 第1号被保険者保険料の所得段階区分別 介護保険料の設定方法について

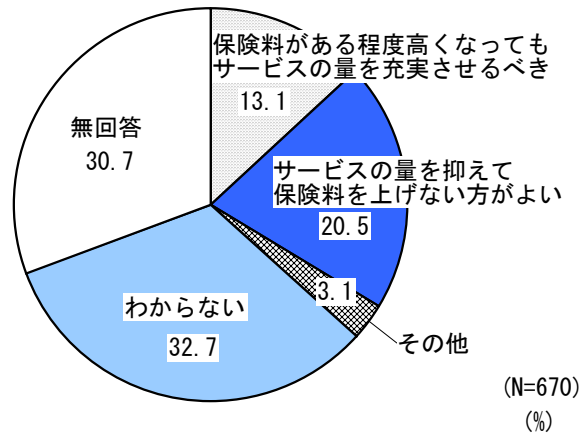
(%)

	調査数 (N)	このままの設定でよい	が、このままの設定でよい 困窮者分を下げを上げる	低所得層を保険料を上げる	所得で細かく設定し、高所得層を下げる	その他	わからない	無回答
第1段階 (年額28,560円)	63	28.0	-	21.6	2.3	25.4	22.7	
第2段階 (年額28,560円)	60	16.5	2.1	40.4	-	24.1	16.9	
第3段階 (年額42,840円)	72	11.1	2.7	29.8	0.9	34.2	21.3	
第4段階 (年額57,120円)	109	20.7	4.7	39.4	2.5	22.6	10.1	
第5段階 (年額62,832円)	33	19.2	5.2	22.1	3.9	32.5	17.2	
第6段階 (年額71,400円)	43	19.4	4.0	22.6	3.1	26.7	24.3	
第7段階 (年額85,680円)	38	34.0	9.8	30.0	3.5	14.7	8.0	
第8段階 (年額99,960円)	6	34.9	-	26.0	-	39.2	-	
第9段階 (年額114,240円)	6	25.8	12.9	25.0	-	24.2	12.1	
わからない	101	9.3	4.4	21.1	2.0	39.7	23.6	
無回答	140	1.1	3.0	11.2	-	17.3	67.3	
合計	670	14.9	3.7	25.4	1.6	26.2	28.2	

介護保険料の設定方法について第1号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、第1・7・9段階で「このままの設定でよい」が最も多く、第2・4段階は「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が最も多い。

イ 今後の保険料のあり方について

図 3-82 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」が20.5%で最も多く、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は13.1%となっている。

表 3-82 今後の保険料のあり方について〔前回調査との比較〕

		調査数 (N)						(%)
		充実させるべき	保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	無回答	
今回調査 (平成19年)	670	13.1	20.5	3.1	32.7	30.7		
		調査数 (N)						(%)
		実サービスが充実している	保険料が高くなってもサービスの量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	無回答	
前回調査 (平成16年)	538	8.1	21.8	16.3	3.2	26.8	23.8	

今後の保険料のあり方について前回調査と比較すると、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は5.0ポイント高くなっている。

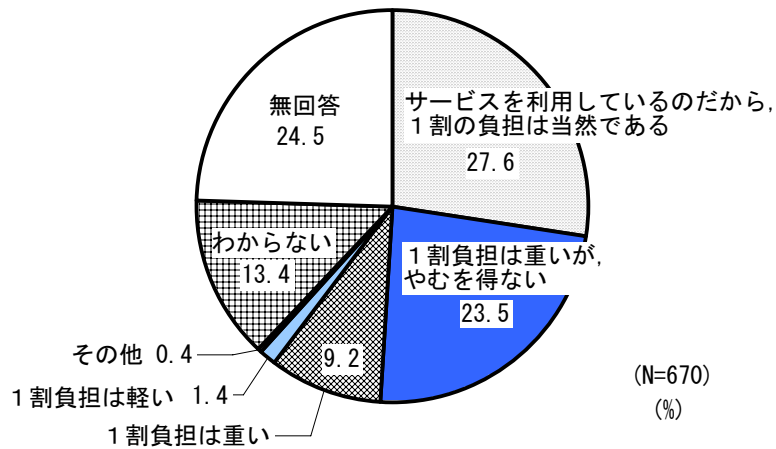
表 3-82 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 今後の保険料のあり方について

		(%)						
	調査数 (N)	をな 充 実 さ せ る べ き	保 険 料 が あ る 程 度 の 高 く	よ い 保 険 料 を 上 げ な い 方 が え	サ ー ビ ス の 量 を 抑 え て	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
第 1 段階 (年額 28,560 円)	63	11.1	25.0	1.1	32.9	29.9		
第 2 段階 (年額 28,560 円)	60	12.0	15.7	2.2	47.1	23.1		
第 3 段階 (年額 42,840 円)	72	17.5	20.1	9.3	33.5	19.6		
第 4 段階 (年額 57,120 円)	109	18.0	23.7	3.5	39.6	15.1		
第 5 段階 (年額 62,832 円)	33	15.5	39.8	8.2	23.1	13.3		
第 6 段階 (年額 71,400 円)	43	20.9	17.8	5.4	31.6	24.3		
第 7 段階 (年額 85,680 円)	38	14.8	61.4	-	15.8	8.0		
第 8 段階 (年額 99,960 円)	6	15.6	38.5	-	45.9	-		
第 9 段階 (年額 114,240 円)	6	25.8	12.9	12.9	12.1	36.3		
わからない	101	14.9	11.8	2.6	44.7	26.0		
無回答	140	2.9	9.2	-	19.3	68.6		
合計	670	13.1	20.5	3.1	32.7	30.7		

今後の保険料のあり方について第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は第 9 段階で 25.8% と高く、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」は第 7 段階 (61.4%) で最も高くなっている。

ウ 利用者負担について

図 3-83 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」が27.6%と最も多く、「1割負担は重い、やむを得ない」も23.5%と多くなっている。

表 3-83 利用者負担について〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である	1割負担は重い、やむを得ない	1割負担は重い	1割負担は軽い	その他	わからない	無回答
今回調査 (平成19年)	670	27.6	23.5	9.2	1.4	0.4	13.4	24.5
前回調査 (平成16年)	538	25.0	30.5	6.9	1.4	0.6	14.7	20.8

介護サービス利用料の1割負担について前回調査と比較すると、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」は前回より2.6ポイント高く、「1割負担は重い、やむを得ない」は7.0ポイント低くなっている。



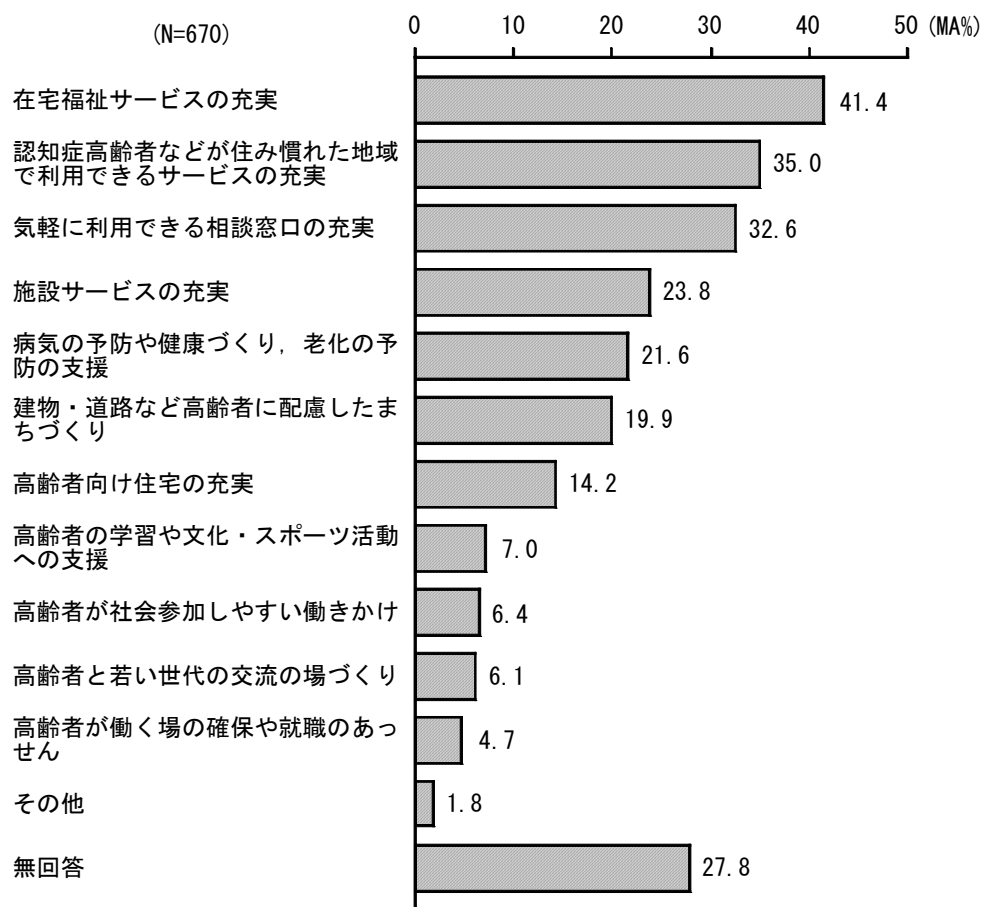
表 3-83 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 利用者負担について

		(%)						
	調査数 (N)	担はのサ はのだビ 然かス であら、 る1利 割用 のし て 負い	む1 を割 得負 ない担 は重 いが、 や	1 割 負 担 は 重 い	1 割 負 担 は 軽 い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
第 1 段階 (年額 2 8, 5 6 0 円)	63	32.2	17.0	10.7	1.1	1.1	16.2	21.6
第 2 段階 (年額 2 8, 5 6 0 円)	60	27.6	25.7	12.5	-	1.1	16.7	16.4
第 3 段階 (年額 4 2, 8 4 0 円)	72	22.6	28.1	9.8	1.8	1.0	22.2	14.6
第 4 段階 (年額 5 7, 1 2 0 円)	109	41.0	32.3	6.9	2.2	-	7.6	10.1
第 5 段階 (年額 6 2, 8 3 2 円)	33	50.9	23.3	8.2	-	-	8.2	9.5
第 6 段階 (年額 7 1, 4 0 0 円)	43	34.1	26.2	6.0	4.0	2.1	5.0	22.7
第 7 段階 (年額 8 5, 6 8 0 円)	38	44.3	27.9	11.3	3.3	-	5.1	8.0
第 8 段階 (年額 9 9, 9 6 0 円)	6	28.2	39.2	10.4	-	-	-	22.3
第 9 段階 (年額 1 1 4, 2 4 0 円)	6	25.8	-	-	-	-	36.3	37.9
わからない	101	24.9	23.5	11.7	0.7	-	22.8	16.4
無回答	140	7.7	14.6	7.7	1.0	-	9.7	59.4
合計	670	27.6	23.5	9.2	1.4	0.4	13.4	24.5

介護サービス利用料の 1 割負担について所得段階区分別にみると、「サービスを利用しているのだから、1 割負担は当然である」は第 4～5、7 段階で 4～5 割と高く、「1 割負担は重い、やむを得ない」は第 8 段階で 39.2% と最も高くなっている。

### (3) 高齢者保健福祉について充実を希望する施策

図 3-84 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」が41.4%と最も多く、次いで「認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実」(35.0%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(32.6%)、「施設サービスの充実」(23.8%)、「病気の予防や健康づくり, 老化の予防の支援」(21.6%)の順となっている。

## 6 在宅介護の状況について

### (1) 介護者の続柄・年代

図 3-85 介護者の続柄

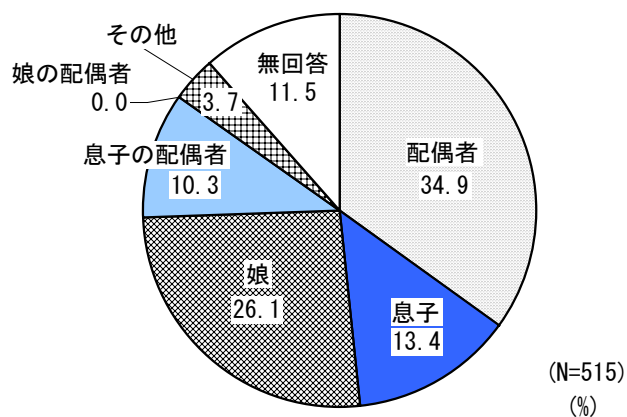
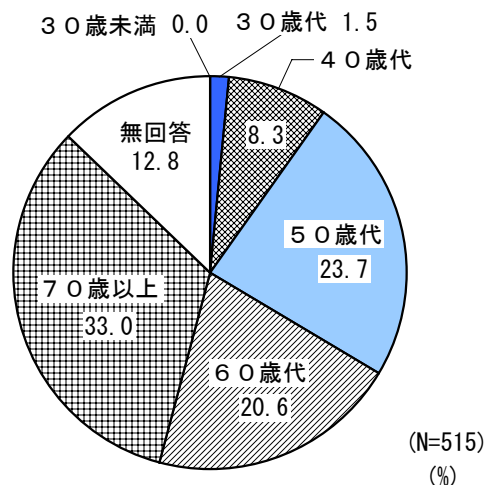


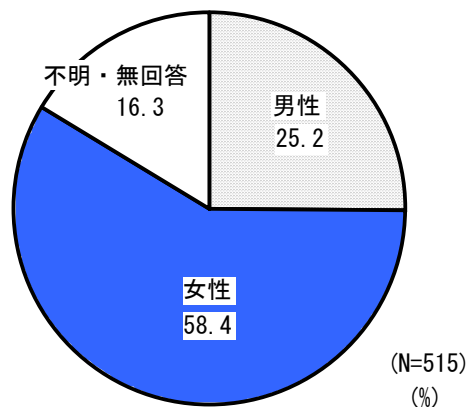
図 3-86 介護者の年代



調査対象者からみた介護者の続柄は、「配偶者」が34.9%と最も多く、次いで「娘」(26.1%)が多くなっている。

介護者の年代は、「70歳以上」が33.0%と最も多く、次いで「50歳代」(23.7%)、「60歳代」(20.6%)と、50歳以上が全体の77.3%を占める。

図 3-87 介護者の性別



※介護者の続柄と調査対象者の性別から判断。

介護者の性別は、「男性」が25.2%、「女性」が58.4%と、「女性」が過半数を占める。

表 3-85 要介護度別 介護者の続柄

	調査数 (N)	配偶者	息子	娘	息子の配偶者	娘の配偶者	その他	無回答
要支援 1	63	35.2	12.5	23.9	6.8	-	3.4	18.2
要支援 2	119	42.6	12.8	25.5	4.3	-	3.2	11.7
要介護 1	100	28.8	15.3	32.2	11.9	-	1.7	10.2
要介護 2	81	46.7	8.3	15.0	13.3	-	8.3	8.3
要介護 3	67	31.6	6.6	32.9	10.5	-	2.6	15.8
要介護 4	40	25.0	23.5	25.0	17.6	-	4.4	4.4
要介護 5	45	20.9	22.4	28.4	14.9	-	3.0	10.4
合計	515	34.9	13.4	26.1	10.3	-	3.7	11.5

介護者の続柄を要介護度別にみると、要支援 1・2、要介護 2は「配偶者」が最も多く、要介護 1と 3は「娘」が最も多い。また、要介護 4は「配偶者」と「娘」が同率で最も多くなっている。

(2) 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

図 3-88 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

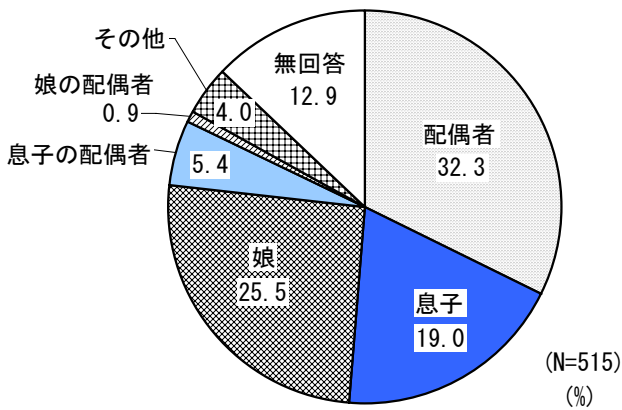
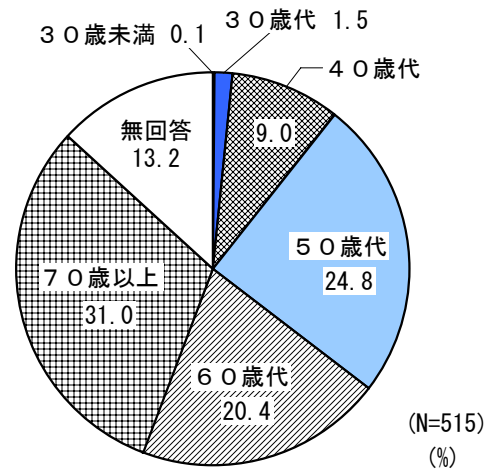


図 3-89 意思決定者の年代

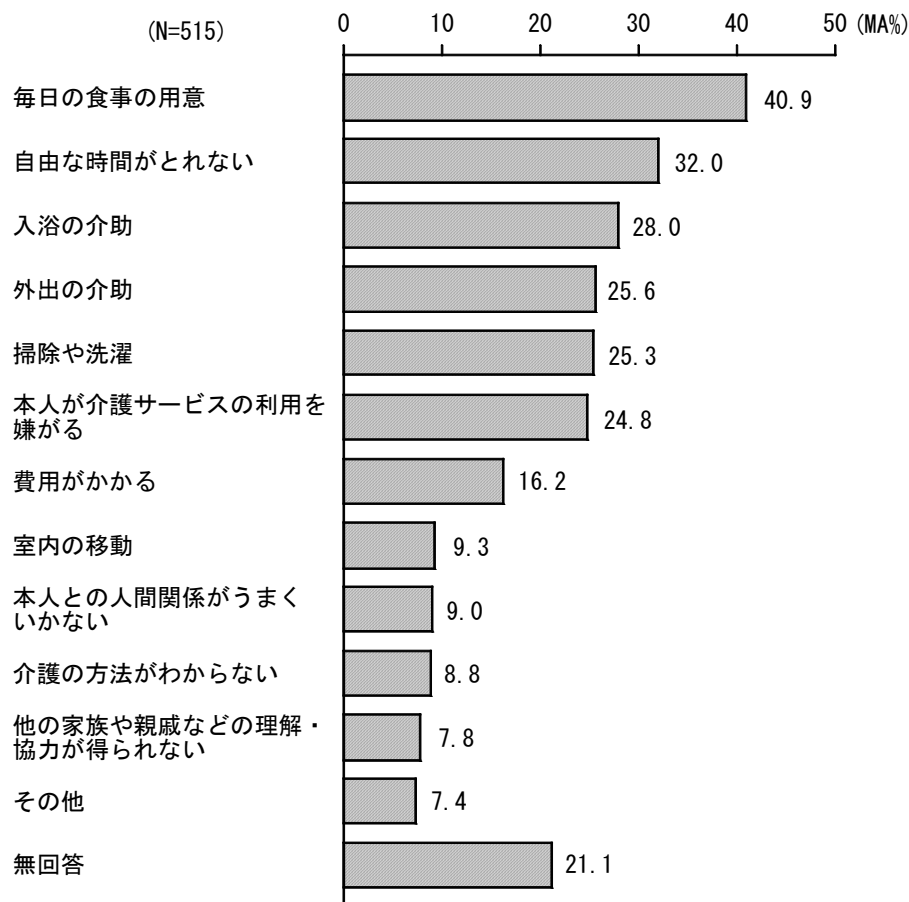


調査対象者がサービス利用する場合などの意思決定に最も関わっている人は、「配偶者」(32.3%)、「娘」(25.5%)、「息子」(19.0%)の三者が多くなっている。

この意思決定者の年代は、「70歳以上」が31.0%と最も多く、次いで「50歳代」(24.8%)、「60歳代」(20.4%)と、50歳以上が全体の76.2%を占める。

### (3) 在宅介護の負担について

図 3-90 家庭における介護で負担が大きいと感じること



家庭における介護で負担が大きいと感じる介護内容は、「毎日の食事の用意」が40.9%で最も多く、次いで「自由な時間がとれない」(32.0%)、「入浴の介助」(28.0%)、「外出の介助」(25.6%)、「掃除や洗濯」(25.3%)となっている。

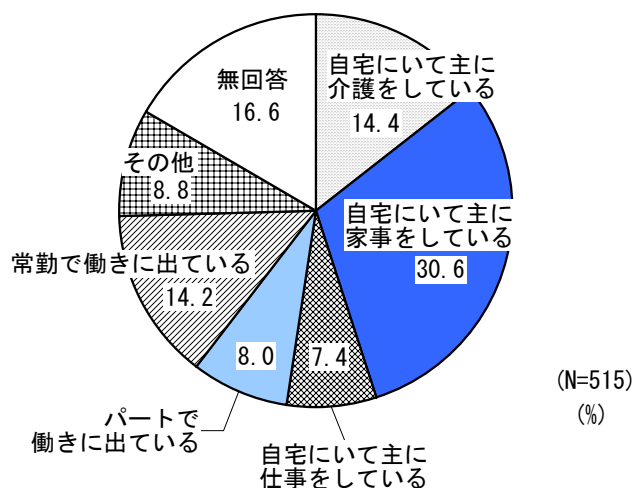
表 3-90 要介護度別 家庭における介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	自由な時間がとれない	入浴の介助	外出の介助	掃除や洗濯	本人が介護サービスの利用を嫌がる	費用がかかる	室内の移動	本人との人間関係がうまくいかない	介護の方法がわからない	他の家族や親戚などの理解・協力が得られない	その他	無回答
要支援1	63	37.5	20.5	9.1	20.5	26.1	10.2	12.5	3.4	5.7	5.7	2.3	6.8	36.4
要支援2	119	43.6	20.2	19.1	25.5	29.8	19.1	8.5	5.3	3.2	5.3	6.4	6.4	24.5
要介護1	100	37.3	33.9	20.3	28.8	20.3	32.2	16.9	5.1	10.2	8.5	10.2	3.4	15.3
要介護2	81	43.3	38.3	31.7	25.0	28.3	41.7	16.7	6.7	15.0	11.7	10.0	3.3	16.7
要介護3	67	35.5	30.3	42.1	26.3	18.4	26.3	13.2	17.1	9.2	9.2	5.3	13.2	22.4
要介護4	40	48.5	54.4	51.5	36.8	35.3	27.9	35.3	22.1	14.7	17.6	13.2	10.3	8.8
要介護5	45	43.3	46.3	46.3	16.4	19.4	9.0	26.9	19.4	10.4	9.0	9.0	16.4	20.9
合計	515	40.9	32.0	28.0	25.6	25.3	24.8	16.2	9.3	9.0	8.8	7.8	7.4	21.1

家庭における介護で負担が大きいと感じることを要介護度別にみると、「自由な時間がとれない」や「入浴の介助」、「費用がかかる」、「室内の移動」は要介護4・5の重度で高くなっている。

#### (4) 介護者の昼間の生活状況

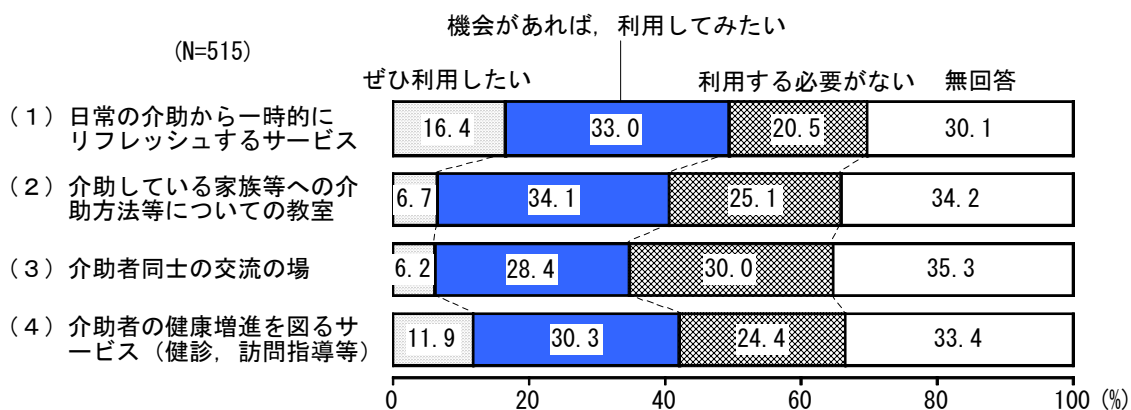
図 3-91 介護者の昼間の生活状況



介護者の昼間の生活状況をみると、「自宅にいて主に家事をしている」が30.6%で最も多く、次いで「自宅にいて主に介護をしている」(14.4%)、「常勤で働きに出ている」(14.2%)となっている。

#### (5) 介護者支援施策に対する意向

図 3-92 介護者が利用したいサービス



介護者が利用したいと思うサービス(「ぜひ利用したい」に「機会があれば、利用してみたい」を加えた割合)としては、『(1) 日常の介助から一時的にリフレッシュするためのサービス』が49.4%と最も多くなっている。

## 7 自由意見

自由意見欄には、86人（記入率11.5%）から延べ145件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

<b>1 介護保険料の負担</b>	<b>10</b>
介護保険料が高い，介護保険料を安くしてほしい（区分の見直し，減免，天引き反対等）	6
介護サービスを利用していない人の介護保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し，減免等）	4
<b>2 サービス利用料の負担</b>	<b>2</b>
サービス利用料の自己負担が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用，減免等）	2
<b>3 介護保険制度全般</b>	<b>56</b>
家族介護をサポートしてほしい（精神面のケアや経済面，訪問等）	14
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応，必要な時すぐに使える，手続の簡素化等）	10
介護保険には不満がある，制度のあり方を変えるべきである（サービス内容の見直し等）	8
老老介護，高齢世帯のサポートをしてほしい	5
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	3
制度の仕組みや利用方法，サービス内容，収支に関して等，情報提供を充実してほしい	3
介護保険に満足している（現状維持等），今後期待している	2
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（財源の確保，税を重点的に配分する等）	2
よく分からない，実感がない	2
介護予防や高齢者の自立，老化防止に力を入れてほしい	2
相談窓口を充実させてほしい	2
独居老人をサポートしてほしい	1
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	1
その他，介護保険制度全般に関する意見	1
<b>4 要介護認定</b>	<b>6</b>
要介護認定は公正に行ってほしい	4
要介護認定基準を変えないでほしい（要介護から要支援等）	2

<b>5 在宅サービスの充実</b>	<b>9</b>
同居家族がいてもサービスに差をつけないでほしい	5
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	2
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実させてほしい	1
ショートステイを希望した時すぐに使えるようにしてほしい	1

<b>6 施設サービスの充実</b>	<b>29</b>
介護保険施設・病院を充実，近くに増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	7
3ヶ月で転院させないでほしい	6
施設職員，介護に携わる人材の待遇改善を図り，人材確保に努めてほしい	5
認知症や重度の専門施設を増やしてほしい	3
施設の入所待ちの状況を改善してほしい（必要な時即入居出来るようにしてほしい等）	1
低料金で入所（利用）できる施設を整備してほしい	1
その他，施設サービスの充実に関する意見	6

<b>7 高齢者保健福祉施策について</b>	<b>5</b>
医療，医療費について	3
高齢者保健福祉施策の内容を知らない，情報提供してほしい	1
後期高齢者医療制度に反対である	1

<b>8 市行政について</b>	<b>11</b>
税金の無駄遣いや不正をなくし，福祉を充実させてほしい	5
国民健康保険について	2
民生委員，老人福祉員について	1
税負担について	1
その他，市行政に関する意見	2

<b>9 アンケートについて</b>	<b>4</b>
設問内容に問題がある（設問数が多い，実態に即していない等）	2
有効に活用してほしい	2

<b>10 その他の意見</b>	<b>13</b>
将来に不安がある，希望が持てるようにしてほしい	2
自身の健康に配慮している	2
高齢者の体力づくり，交流の場がほしい	1
高齢者が外出しやすいよう，歩道や交通の整備をしてほしい	1
その他	7